

三重県桑名市
文化財調査報告書

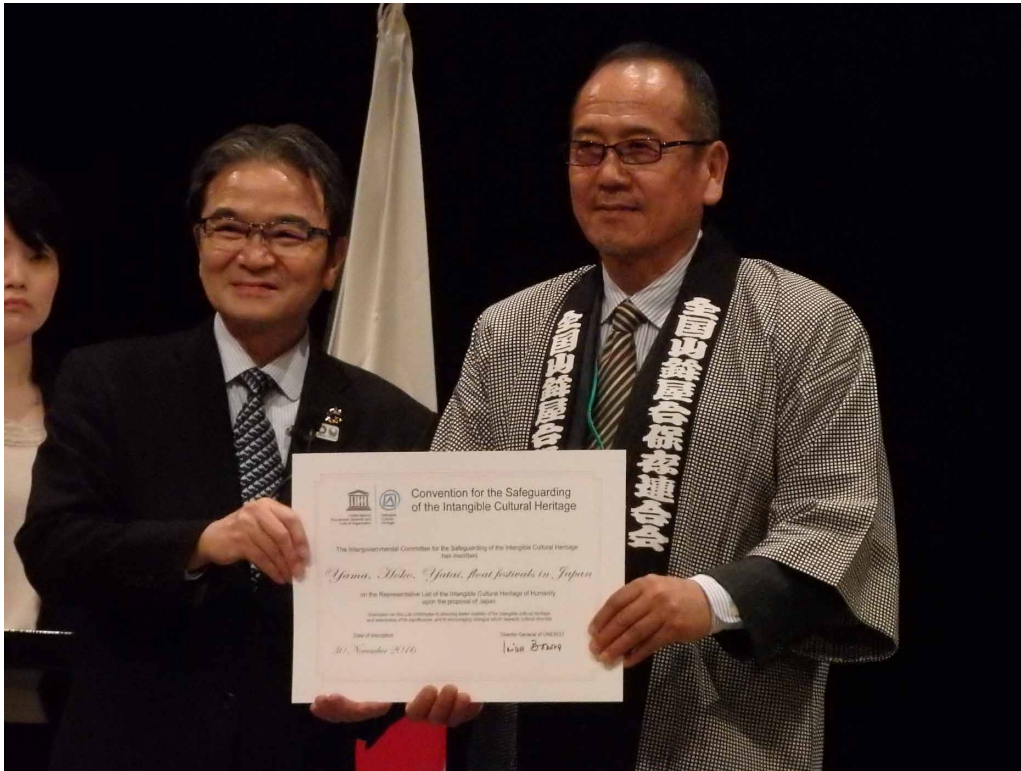
令和2年
桑名市教育委員会



桑名石取祭の祭車行事
ユネスコ無形文化遺産記載決定時の様子



桑名石取祭の祭車行事
ユネスコ無形文化遺産記載決定奉祝の様子



桑名石取祭の祭車行事
登録認定書伝達式（左：宮田亮平文化庁長官 右：伊藤守保存会会長）



西方廃寺出土 飛雲文軒丸瓦

目 次

| | |
|-----------------------|------------------------|
| 第1章 文化財保護 | 1 |
| 第1節 文化財指定 | |
| 第2節 指定文化財 | |
| 第3節 指定文化財の修理・現状変更・毀損届 | |
| 1 修理・現状変更 | 2 毀損届 |
| 第4節 指定文化財の所在場所の移動 | |
| 第5節 文化財保護 | |
| 1 文化財掲示板 | 2 文化財防火デー |
| 3 文化財保護審議会委員 | |
| 第2章 文化財の調査 | 6 |
| 第1節 埋蔵文化財の調査 | |
| 西方廃寺 | |
| 第3章 文化財の普及・公開 | 19 |
| 1 文化財出前講座 | 2 資料貸出 |
| 3 ふれあい歴史教室 | 4 国指定天然記念物「多度のイヌナシ自生地」 |
| 5 文化財関係刊行物 | 6 講演会・講座 |
| 7 施設案内 | |
| 寄贈図書一覧（平成28年度分） | 21 |
| 職員配置 | |

第1章 文化財保護

第1節 文化財指定

| | |
|-------|--|
| 指定名称 | 山・鉾・屋台行事（桑名石取祭の祭車行事） |
| 指 定 日 | 平成28年11月30日（国指定：平成19年3月7日） |
| 種 別 | ユネスコ無形文化遺産 |
| 所 在 地 | 桑名市本町46周辺 |
| 管理団体 | 桑名石取保存会 |
| 概要・経緯 | ユネスコ（国際連合教育科学文化機関 United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization）は1945（昭和20）年11月16日に採択された「国際連合教育科学文化機関憲章」（ユネスコ憲章）に基づいて教育、科学、文化の発展と推進を目的として1946（昭和21）年11月4日に設立された国際連合の専門機関である。重点的に推進する活動目標として「万人のための基礎教育」、「文化の多様性の保護および文明間対話の促進」などを定めており、日本は1951（昭和26）年7月2日に加盟している。 |

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関 United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization）は1945（昭和20）年11月16日に採択された「国際連合教育科学文化機関憲章」（ユネスコ憲章）に基づいて教育、科学、文化の発展と推進を目的として1946（昭和21）年11月4日に設立された国際連合の専門機関である。重点的に推進する活動目標として「万人のための基礎教育」、「文化の多様性の保護および文明間対話の促進」などを定めており、日本は1951（昭和26）年7月2日に加盟している。

ユネスコ無形文化遺産とは、2003（平成15）年のユネスコ総会で採択され、2006（平成18）年に発効した「無形文化遺産保護条約（無形文化遺産の保護に関する条約）」に基づいて、無形文化遺産の重要性についての意識を向上させるために、ユネスコ内に設置された無形文化遺産保護に関する政府間委員会によって、「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」（Representative List of the Intangible Cultural Heritage of Humanity）を作成することとされている。対象とされる無形文化遺産とは、人びとの慣習・描写・表現・知識及び技術並びにそれらに関連する器具、物品、加工品及び文化的空間のことを指す。つまり、形があるもの（不動産が付随する）である「世界遺産」に対し、無形文化遺産は形にならない人間が持つ知恵や習慣などが対象になる。また世界遺産では、対象が世界遺産に認定されたことを登録と呼称されるが、無形文化遺産の場合は代表一覧へ記載されたと呼称する。

今回記載がなされた山・鉾・屋台行事とは、北は青森県八戸市から南は熊本県八代市に至る18府県の、山・鉾・屋台などと呼称される木製の山車を用いる、国指定無形・有形民俗文化財に指定されている行事の計33件からなる無形文化遺産である。

このうち、2009（平成21）年に「京都祇園祭の山鉾行事」・「日立風流物」が単独の行事として無形文化遺産として代表一覧へ記載をされていた。これに続き2011（平成23）年には同分野の登録を提案したものの、無形文化遺産の記載数が増加しており既に登録された行事と同じ分野の文化財を単独で登録することが難しくなっていたことから、「情報照会」とされて登録が見送られた。

そこで、2014（平成26）年3月13日には「京都祇園祭の山鉾行事」及び「日立風流物」を拡張する形で、国指定重要無形民俗文化財の祭礼行事33件をまとめて「山・鉾・屋台行事」として2015（平成27）年の登録を目指し提案し、2014（平成26）年3月27日に正式に登録申請を決定。登録の可否は最短で2015（平成27）年秋頃の予定だったが、

各国より 61 件もの登録申請が寄せられたため、登録審査は 2016（平成 28）年の秋頃になるとユネスコより連絡を受け審査は先送りの結果となった。

その後、2015（平成 27）年 3 月 2 日には「大垣祭の軸行事」が、新たに重要無形民俗文化財に指定され、「山・鉦・屋台行事」にも加え 18 府県 33 件として同月に再提案し、2016（平成 28）年 11 月 30 日、エチオピアのアディスアベバで開催されていたユネスコ無形文化遺産の保護に関する条約（無形文化遺産保護条約）第 11 回政府間委員会において、代表一覧表への記載（いわゆる無形文化遺産登録）の決議がなされた。

三重県内では、「鳥出神社の鯨船行事」（四日市市）、「上野天神祭のダンジリ行事」（伊賀市）と共にグルーピングされており、富山県南砺市で開催された平成 29 年度全国山・鉦・屋台連合会の総会に先立ち、文化庁よりグループを構成する 33 の団体に対して無形文化遺産の登録認定書伝達式が開催された。

記載までの経緯

| 年 (和暦) | 年 (西暦) | 月 | 日 | 内 容 |
|-----------|-----------|----|----|--|
| 平成 21 | 2009 | 9 | 30 | 無形文化遺産保護条約第 4 回政府間委員会（於：アブダビ）で「京都祇園祭の山鉦行事」・「日立風流物」が無形文化遺産に登録。 |
| 平成 23 | 2011 | 11 | | 無形文化遺産保護条約第 6 回政府間委員会（於：パリ）で「秩父祭の屋台行事と神楽」・「高山祭の屋台行事」について情報照会が決定。 |
| 平成 26 | 2014 | 3 | 6 | 文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会において、提案の審議。 |
| 平成 26 | 2014 | 3 | 31 | 平成 21 年に代表一覧記載がなされた「京都祇園祭の山鉦行事」・「日立風流物」を拡張した提案として、国指定重要無形民俗文化財 32 件を「山・鉦・屋台行事」として提案。 |
| | | 6 | 4 | ユネスコが定める審査件数の上限を上回る提案（61 件）があったため、登録件数が世界 2 位である日本の提案審査が 1 年先送りされる。 |
| 平成 27 | 2015 | 2 | | 文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会において「山・鉦・屋台行事」の再提案を決定。 |
| | | 3 | | 「大垣祭の軸行事」を重要無形民俗文化財に追加指定し、「山・鉦・屋台行事」33 件として再提案。 |
| 平成 28 | 2016 | 10 | 31 | 「山・鉦・屋台行事」について評価機関が記載（登録）を勧告。 |
| | | 11 | 30 | 第 11 回政府間委員会（於：アディスアベバ）で「山・鉦・屋台行事」の記載（登録）が全会一致で決議。 |
| 平成 29 | 2017 | 5 | 4 | 平成 29 年度全国山・鉦・屋台連合会総会（於：富山県南砺市）で、文化庁よりグループを構成する 33 の団体に対して無形文化遺産の登録認定書伝達式を開催。 |

第2節 指定文化財

指定一覧（平成29年3月31日現在）

| 指定区分 | 有形 | | | | | | | | | 無形 | | 民俗 | | 記念物 | | | 伝統的建造物群 | 合計 |
|------|-----|------|----|-----|----|----|-----|----|------|----|------|----|----|-----|----|-------|---------|-----|
| | 建造物 | 美術工芸 | | | | | | | | 芸能 | 工芸技術 | 有形 | 無形 | 史跡 | 名勝 | 天然記念物 | | |
| | | 絵画 | 彫刻 | 工芸品 | 書跡 | 典籍 | 古文書 | 考古 | 歴史資料 | | | | | | | | | |
| 国指定 | 2 | 1 | | 2 | 5 | | | 1 | 1 | | | | 2 | | 2 | 1 | | 17 |
| 県指定 | 5 | 4 | 3 | 9 | 1 | | | 1 | | | 1 | 2 | 1 | 6 | | 2 | | 35 |
| 市指定 | 4 | 7 | 9 | 22 | 10 | 5 | 9 | 3 | | 1 | 2 | 10 | 7 | 14 | | 7 | | 110 |
| 国登録 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | 5 |
| 合計 | 16 | 12 | 12 | 33 | 16 | 5 | 9 | 5 | 1 | 1 | 3 | 12 | 10 | 20 | 2 | 10 | | 167 |

第3節 指定文化財の修理・現状変更・毀損届

1. 修理・現状変更

| 名称 | 指定種別 | 変更期間 | | 変更の事由 |
|------------|------|------------|------------|--|
| | | 自 | 至 | |
| 諸戸氏庭園 | 国名勝 | 平成28年7月6日 | 平成28年7月20日 | 旧休憩室修理にあたり、旧休憩室内に保存されていた出土遺物を保管することを目的に、焼却炉跡に仮設倉庫棟を設置するため。 |
| | | 平成28年11月下旬 | 平成29年3月31日 | 保存修理事業終了後の公開活用を鑑み旧休憩室等を利用可能な状態へと保存修理するため。 溝渠護岸修復工事に際して支障となっている樹木の伐採を行うため。 |
| 多度のイヌナシ自生地 | 国天然 | 平成28年9月1日 | 平成29年5月31日 | 実生の生育保全を目的とした自生地保全管理（下草・灌木の伐採）のため。 |
| 桑名城跡 | 県史跡 | 平成28年3月3日 | 平成28年9月24日 | 旧参集殿周辺に、修祓殿・玉垣・車寄せ等を整備するため。 |
| 西船馬町祭車 | 市有民 | 平成28年6月1日 | 平成29年3月31日 | 国庫補助を用いた祭車本体漆塗り修理を滋賀県長浜市で行うため。 |
| ヒメタイコウチ | 市天然 | 平成28年4月1日 | 平成28年12月1日 | モニタリング調査のため。 |
| | | 平成28年6月9日 | 平成28年9月15日 | |
| | | 平成28年6月29日 | 平成28年9月6日 | |
| | | 平成28年7月4日 | 平成28年8月23日 | |
| | | 平成28年7月5日 | 平成28年11月5日 | |
| | | 平成28年7月12日 | 平成28年9月9日 | |
| | | 平成28年7月12日 | 平成28年9月11日 | |

2. 毀損届

| 名称 | 指定種別 | 毀損日 | 毀損の事由 |
|-------------|------|------------------|---|
| 諸戸氏庭園 | 国名勝 | 平成 29 年 1 月 18 日 | 平成 29 年 1 月 14 日～ 16 日にかけて大雪となり、樹木が倒壊した。 |
| 旧諸戸氏庭園 | 国名勝 | 平成 28 年 4 月 17 日 | 庭園内樹木が枯死した。 |
| | | 平成 28 年 9 月 21 日 | 台風 16 号により、洋館車寄せ上部の柵を覆う銅板が脱落した。 |
| | | 平成 28 年 10 月 2 日 | 二番蔵扉の左右2カ所に、落書きをされた。 |
| | | 平成 29 年 1 月 17 日 | 平成 29 年 1 月 14 日～ 16 日にかけて大雪となり、樹木が折れた。 |
| 旧諸戸家住宅 附 棟札 | 国建造物 | 平成 29 年 1 月 17 日 | 平成 29 年 1 月 14 日～ 16 日にかけて大雪となり、和館雨樋・濡縁庇が雪の重みにより破損した。 |
| 諸戸家住宅 | 国建造物 | 平成 29 年 1 月 18 日 | 平成 29 年 1 月 14 日～ 16 日にかけて大雪となり、主屋屋根に積雪していた雪が、天候回復により雪崩を起こし、樋を破損した。 |
| 多度のイヌナシ自生地 | 国天然 | 平成 28 年 7 月 11 日 | 近接して枯死していた樹木が倒壊し、枝を損壊した。 |
| 松平定綱及一統之墓所 | 県史跡 | 平成 29 年 1 月 18 日 | 平成 29 年 1 月 14 日～ 16 日にかけて大雪となり、定綱墓所玉垣が倒壊・破損した。 |
| ヒメタイコウチ | 市天然 | 平成 28 年 4 月 12 日 | 降雨により流出した石粉・土砂が生息地へ流入した。 |

第 4 節 指定文化財の所在場所の移動

| 名称 | 指定種別 | 移動期間 | | 移動の事由 |
|---|------|-------------------|-------------------|---|
| | | 自 | 至 | |
| 古萬古 赤絵獅子文燭台 | 市工芸 | 平成 28 年 7 月 6 日 | 平成 28 年 8 月 28 日 | 企画展・夏休み学習支援展示「いろえのいろは！ー色絵陶器を学ぶー」に出展のため。 |
| 刀 銘正重 | 県工芸 | 平成 28 年 9 月 1 日 | 平成 28 年 10 月 31 日 | 企画展「村正ー伊勢桑名の刀工ー」に出展のため。 |
| 短刀 銘（表）正重（裏） 多度山権現 | 県工芸 | | | |
| 短刀 銘藤正 | 県工芸 | | | |
| 太刀 銘 勢州桑名郡益田庄藤原朝臣村正作 天文十二年 附 四弁花繫文錦包糸巻太刀拵 | 県工芸 | | | |
| 太刀 銘 勢州桑名藤原千子正重 寛文元年十二月及び同二年正月 | 県工芸 | | | |
| 太刀・劍 銘 勢州桑名藤原朝臣村正作 天文二十二年九月 | 県工芸 | | | |
| 短刀 銘 村正 | 市工芸 | | | |
| 短刀 村正 | 市工芸 | | | |
| 刀 銘 固山備前介藤原宗次 | 市工芸 | | | |
| 金地着色 祭礼図屏風 | 県絵画 | 平成 28 年 10 月 25 日 | 平成 28 年 12 月 25 日 | 特別企画展「祭礼の美～石取祭と祇園祭～」に出展のため。 |
| 久波奈名所図会 | 市絵画 | | | |
| 能面 少尉・姥 | 市工芸 | | | |

第5節 文化財保護

1. 文化財揭示板

| 建設場所 | 員数 | 備考 |
|---------------|----|----|
| 八幡神社獅子舞（出雲神社） | 1基 | 修繕 |
| 石取会館 | 1基 | 修繕 |

2. 文化財防火デー

| | 開催日 | 開催場所 |
|--------------|------------|---------|
| 平成28年度（第63回） | 平成29年1月24日 | 東海山 照源寺 |



文化財防火デー 本堂への放水訓練



文化財防火デー 消火器による訓練

3. 文化財保護審議会委員

| 部門 | 委員名 | 備考 |
|-------------|-------|-----|
| 建造物・美術工芸 | 加賀 修 | 部門長 |
| | 菅原 洋一 | |
| | 岡野 智子 | |
| 文書・典籍 | 高倉 一紀 | 部門長 |
| | 山中 雅子 | |
| | 播磨 良紀 | |
| 無形文化財・民俗文化財 | 櫻井 治男 | 部門長 |
| | 鬼頭 秀明 | |
| | 平賀 大蔵 | |
| 史跡・考古資料 | 小澤 一弘 | |
| | 渡辺 尚登 | |
| 名勝・天然記念物 | 川添 護 | 部門長 |
| | 森 勇一 | |
| | 森 誠一 | |

任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日

第2章 文化財の調査

第1節 埋蔵文化財の調査

2016（平成28）年4月1日から2017（平成29）年3月1日までに埋蔵文化財の有無と範囲に関する照会（「文化財の所在の有無とその取り扱いについて」）が提出された件数は89件を数える。（表1～5）

本節では平成28年度に発掘調査を行い、整理作業を終了した西方廃寺について報告を行う。

現地での発掘作業は水谷吏江（観光文化課臨時職員）、基準点測量及び遺構図の図化作業は株式会社イビソクの協力を得た。本節の執筆、図版作成及び編集は、調査を担当した斉藤理（文化課 *所属は調査当時）の協力を得て須藤梢（観光文化課）が行った。また、整理作業については、水谷吏江、長谷川美香、西山綾乃、花木ゆき乃（以上観光文化課臨時職員）の協力を得た。

西方廃寺（遺跡番号 a-86）

| | |
|------|------------------------------|
| 所在地 | 桑名市大字西方 |
| 開発面積 | 129.95 m ² （敷地面積） |
| 調査期間 | 平成28年9月6日 |
| 調査方法 | 発掘調査 |
| 事業名 | 個人住宅建設 |
| 調査主体 | 桑名市教育委員会 |
| 調査担当 | 斉藤理（桑名市総務部文化課 *調査当時） |
| 調査面積 | 22.19 m ² |

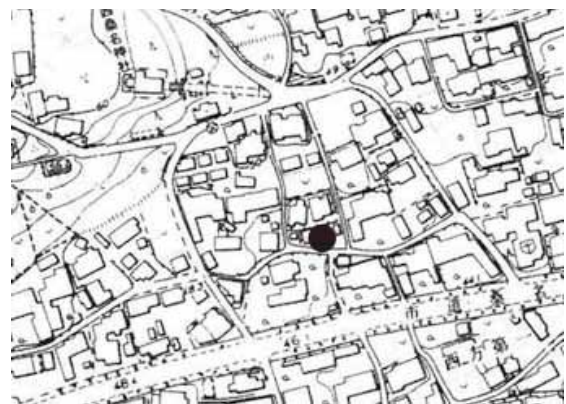


図1 遺跡位置図（1/50000）

1. 遺跡の位置と周辺環境

西方廃寺は桑名市街地西方に広がる西方台地と呼ばれる丘陵上に所在する遺物散布地である。遺跡が立地するのは西方台地西部に位置する標高 45 ～ 50m の住宅地である。近世の地誌類によれば、この一帯では古い瓦や陶器が出土することで知られ、天平年間の聖武天皇行幸の際に建てられた「海善寺」という寺院の旧跡にあるとされる（註 1）。桑名市博物館が伝西方廃寺採集資料（以下、採集資料）として軒瓦等を所蔵するが、これまでに発掘調査が行われたことはなく、詳細は不明とされてきた。本遺跡から 200m ほど北上したところには古代瓦窯の西方古窯跡（遺跡番号 a-84）が所在しており、平成 18 年度に実施された発掘調査では 2 基の窯体が検出され、4 基以上の窯が操業していたことが明らかとなった。出土した瓦と採集資料との比較から、西方廃寺の瓦は西方古窯から供給されたと考えられる。

西方台地一帯には主として古墳時代から戦国時代にかけての遺跡が点在する。早くから宅地化が進んだため未調査もしくは断片的な調査しか行われていない遺跡も多いが、北伊勢地域最大級の前方後円墳である高塚山古墳（遺跡番号 a-50）、市内最古の土器と目される押型文土器が出土した愛宕山城跡（遺跡番号 a-98）など、当地域の歴史を考える上で重要な遺跡もみられる。近年では調査成果の蓄積とともに古代前半期の西方台地の状況が少しずつ明らかになっており、当地が古代桑名郡において重要な地域であったとの見方もある（伊藤 2013）。

2. 調査の概要

個人住宅建設に伴う表層改良により遺構が破壊される可能性が考えられたため、改良部分に対して南北 3m、東西 4m のトレンチを設定し、表土層より順次掘削を行った。現況地盤から 1.0m 付近はごく最近の攪乱層で、トレンチの西側では地山に達するほど深く落ち込む（1・2 層）。以前に建っていた建物に起因するものと考えられる。攪乱層直下の 3 層からは近世の遺物が出土しており、近世以降の堆積層と考えられる。トレンチ南東部の 3 層直下にて古代の瓦が出土する 7 層が確認されたため、トレンチ南東部に接続するように南北 1.5m、東西 6.3m の拡張トレンチを設けて遺構・遺物の分布状況を調査した。トレンチ拡張部も一部地山まで攪乱を受けていたが、地山（4 層）の直上層（7 層）からは古代瓦が多数出土した。7 層除去後、4 層上面を精査したが、遺構は検出されなかった。古代瓦は 1 ～ 3 層でも出土しており、地表面にも散布がみられることから、この付近では近世以降の開墾等でかなり攪乱を受けていると考えられる。

3. 出土遺物

遺物はコンテナケース 2 箱分が出土した。大部分は古代の瓦で、他に近世以降の陶磁器と瓦が出土している。古代の瓦のうち、軒丸瓦（遺物 1）と軒平瓦（遺物 2）が各 1 点、このほかは全て平瓦と丸瓦に分けられる。平瓦と丸瓦の比率は丸瓦 1 に対し、平瓦約 2.3 である。比率は隅部の総数を 4 で割った商から概算した。瓦はほとんどが小片である。焼成は全体的に軟質で磨耗したものが多い。

遺物 1 は外区に飛雲文、内区に単弁十三葉蓮華文が配される軒丸瓦である。雲文の数は不明である。雲頭は 3 段で中央向きかつ反時計周りの向きに配される。蓮華文の中房蓮子は 1 + 4 である。全体にナデおよびケズリ調整が施される。遺物 1 の文様、調整および焼成は、採集資料および西方古窯跡出土の飛雲文軒丸瓦に酷似する。

遺物 2 は厚みがあり、特に広端部が肥厚している。瓦当面は縄叩き後にナデ調整が施される。凸面では縦方向のケズリとナデ調整がみられ、瓦当面に沿って端部に面取り状にケズリが施される。凹面は磨耗のため調整不明である。広端部が肥厚する特徴的な形状や瓦当面を意識した調整から無文の軒平瓦と考えられる。

平瓦は一部磨耗により調整不明のものもあるが、ほとんどは凹面に布目圧痕、凸面に縦方向の縄叩き目が残る。厚さにはばらつきがあり、凹面端部のケズリの有無など細かな調整痕に差異がみられる。丸瓦は個体数が少なく磨耗が激しいものが多い。凹面に布目圧痕がみられる点は概ね共通するが、凸面は特に磨耗が激しくほとんどの個体で調整が不明瞭である。遺物 9・10 は玉縁式である。その他の出土丸瓦については残存状態が悪く、玉縁式／行基式の判別ができない。

4. 調査のまとめ

本調査は西方廃寺における文化財保護法に基づく初めての発掘調査である。発掘面積が狭小のため遺構は検出されなかったものの、地山直上に瓦が多数混入する古代の遺物包含層が残存することが確認された。採集資料でしかその存在を窺い知ることができなかった西方廃寺にとっては大きな成果といえよう。通常、表採資料は遺跡との関連性について慎重な扱いが求められる。西方廃寺の採集資料についてもこうした問題点が指摘されていたが、今回の調査で採集資料に酷似する遺物が出土したことで、採集資料を西方廃寺の遺物とする論拠が強まった。遺跡の年代観を考える上でも、これまで西方廃寺の造営年代の根拠となっていた飛雲文軒丸瓦が発掘調査によって出土したことは貴重な発見といえよう。

西方廃寺関連資料としては、採集資料と今回の出土遺物のほか、『三重県古瓦図録』に掲載される鈴木敏雄氏採集の軒丸瓦 2 点が挙げられる。これらの資料を合わせると、西方廃寺では軒丸瓦 5 種類、軒平瓦 3 種類が存在することが確認できる。ここに西方古窯跡出土遺物を加えると、軒丸瓦 5 種類、軒平瓦 5 種類となる。文様全体が確認できる軒丸瓦 14 点のうち、飛雲文軒丸瓦は 7 点で全体の半数を占める。母数が小さいため必ずしも有効な比率とはいえないが、少なくとも現状では西方廃寺では主として飛雲文軒丸瓦が使われた可能性が高いと考えられる。

西方廃寺の飛雲文軒丸瓦は、近江国府関連遺跡出土の飛雲文軒丸瓦と文様等に共通性が認められることから、年代観についてもこれに依拠して 8 世紀中葉～後葉を大きく下らないと推定される。西方廃寺の造営年代もこの時期にかかると考えられる。

西方廃寺周辺はすでに宅地化されており、今後大規模な調査が実施される可能性は低い。しかし、小規模発掘や立会調査であっても、調査結果を精査することでさまざまな情報を得ることができる。大規模開発が少なくなった昨今、こうした細かい調査の積み重ねが重要性を増している。

本文註釈

(1) 江戸時代中期に成立した魯縞庵義道の著書『久波奈名所図会』には、西方村で出土する古瓦に関する古老の話として次のように記される。「西方村八万宮の森の傍より出る。是往古海善寺の旧地なるべし。瓦布目ありて古代の物なり。実に行基僧正天平年中建立伽藍の瓦なるべし。未だ年号のあるを見ず。又種々の仏具を掘出す。みな陶器なり」

主要参考文献

伊藤裕偉 2013 『三重県埋蔵文化財調査報告 341 上之越 B 遺跡発掘調査報告』 三重県埋蔵文化財センター

久波奈古典籍刊行会編 1977 『久波奈名所図会』 中巻

桑名市教育委員会 2013 『桑名市文化財調査報告書～平成 22 年度～』

桑名市教育委員会 2014 『桑名市文化財調査報告書～平成 23 年度～』

鈴木敏雄 1933 『三重県古瓦図録』

平井美典 2011 「飛雲文瓦からみた近江国府の創建」『大國近江の壮麗な国府』安土城考古博物館

| 文書番号 | 照会年月日 | 市遺跡No. | 遺跡名 | 所在地 | 調査原因 | 調査対象面積 | 調査方法/ 処置及び結果 |
|-------|------------------|---------------|-----------------|--------------------|----------|-------------------------|-----------------|
| 文 2 | 平成 28 年 4 月 1 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市新屋敷 | 個人住宅 | 457.99 m ² | 立会調査 |
| 文 30 | 平成 28 年 4 月 7 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市元赤須賀 | 個人住宅 | 102.69 m ² | 立会調査 |
| 文 57 | 平成 28 年 4 月 21 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市鍛冶町 | 個人住宅 | 79.24 m ² | 発掘調査 |
| 文 72 | 平成 28 年 5 月 9 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市柳原 | 個人住宅 | 62.93 m ² | 立会調査 |
| 文 77 | 平成 28 年 5 月 9 日 | a-111 | 能部北貝戸遺跡 | 桑名市大字能部字北貝戸 | 個人住宅 | 84.05 m ² | 発掘調査 |
| 文 89 | 平成 28 年 5 月 13 日 | b-95 | 下野代遺跡 | 桑名市多度町下野代 | 駐車場、外構工事 | 593.04 m ² | 立会調査 |
| 文 111 | 平成 28 年 5 月 20 日 | b-29 | 宇賀 C 遺跡 | 桑名市多度町柚井字宇賀 | 個人住宅 | 52.18 m ² | 立会調査 |
| 文 127 | 平成 28 年 5 月 23 日 | a-131 | 江場貝戸遺跡 | 桑名市大字江場 | 下水道管布設 | 850.00 m ² | 立会調査指示 →頼末書 |
| 文 136 | 平成 28 年 5 月 27 日 | c-14 | 長島城下町遺跡 | 桑名市長島町西外面字城南北 | 個人住宅 | 110.95 m ² | 立会調査 |
| 文 137 | 平成 28 年 5 月 27 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市外堀 | 電柱接地線新設 | 1.60 m ² | 立会調査 |
| 文 138 | 平成 28 年 5 月 27 日 | a-100 | 桑名城跡 | 桑名市吉之丸 | 電柱接地線新設 | 0.80 m ² | 立会調査 |
| 文 152 | 平成 28 年 6 月 2 日 | b-57 | 天王平遺跡 | 桑名市多度町小山 | 電柱建替 | 0.09 m ² | 立会調査 |
| 文 154 | 平成 28 年 6 月 3 日 | a-86 | 西方廃寺 | 桑名市大字西方 | ガス管理設 | 6.98 m ² | 立会調査 |
| 文 155 | 平成 28 年 6 月 7 日 | a-137 | 真改遺跡 | 桑名市大字東野字真改、大字江場字北郷 | 共同住宅 | 1,157.5 m ² | 発掘調査 |
| 文 165 | 平成 28 年 6 月 9 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市内堀南、外堀北 | ガス管理設 | 105.27 m ² | 立会調査 |
| 文 166 | 平成 28 年 6 月 9 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市内堀東 | ガス管理設 | 73.75 m ² | 立会調査 |
| 文 175 | 平成 28 年 6 月 15 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市外堀、新屋敷 | 配水管布設 | 2,300.00 m ² | 立会調査 |
| 文 189 | 平成 28 年 6 月 16 日 | a-65 | 古城遺跡 | 桑名市大字友村 | 個人住宅 | 80.50 m ² | 施工可 |
| 文 209 | 平成 28 年 6 月 28 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市新屋敷 | 個人住宅 | 53.00 m ² | 立会調査 |
| 文 218 | 平成 28 年 7 月 4 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市三崎通 | 個人住宅 | 66.66 m ² | 立会調査 |
| 文 227 | 平成 28 年 7 月 5 日 | b-29 | 石坪遺跡 | 桑名市多度町肱江字村西 | 基礎作成 | 30.00 m ² | 慎重工事 |
| 文 228 | 平成 28 年 7 月 8 日 | a-99 a-100 | 桑名城下町遺跡 桑名城跡 | 桑名市江戸町、三之丸 | ガス管理設 | 80.80 m ² | 立会調査 |
| 文 233 | 平成 28 年 7 月 8 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市外堀 | 個人住宅 | 147.25 m ² | 立会調査 |
| 文 234 | 平成 28 年 7 月 11 日 | a-100 | 桑名城跡 | 桑名市吉之丸 | 個人住宅 | 64.59 m ² | 立会調査 |
| 文 237 | 平成 28 年 7 月 14 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市新町 | 個人住宅 | 49.92 m ² | 立会調査 |
| 文 238 | 平成 28 年 7 月 15 日 | a-100 | 桑名城跡 | 桑名市吉之丸 | 個人住宅 | 66.25 m ² | 立会調査 |
| 文 261 | 平成 28 年 7 月 26 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市内堀 | 個人住宅 | 106.68 m ² | 立会調査 |
| 文 262 | 平成 28 年 7 月 28 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市一色町 | 個人住宅 | 60.45 m ² | 立会調査 |
| 文 273 | 平成 28 年 7 月 29 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市柳原 | 宅地造成 | 428.99 m ² | 立会調査 |
| 文 281 | 平成 28 年 8 月 4 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市大字東野字鎌堀 | 共同住宅 | 73.94 m ² | 施工可 |
| 文 288 | 平成 28 年 8 月 5 日 | a-131 | 江場貝戸遺跡 | 桑名市大字江場、大字大福 | ガス管理設 | 10.68 m ² | 立会調査 |
| 文 290 | 平成 28 年 8 月 8 日 | a-131 | 江場貝戸遺跡 | 桑名市大字江場字貝戸 | 戸建住宅 | 1,377.00 m ² | 発掘調査 |
| 文 296 | 平成 28 年 8 月 10 日 | b-62 | 藤塚遺跡 | 桑名市多度町戸津字藤塚 | 排水路底張工事 | 302.40 m ² | 慎重工事 |
| 文 314 | 平成 28 年 8 月 30 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市伝馬町 | 個人住宅 | 54.00 m ² | 立会調査 |
| 文 322 | 平成 28 年 9 月 1 日 | a-140 | 有王遺跡 | 桑名市大字本願寺 | 下水道管布設 | 530.00 m ² | 立会調査 |

表 1 所在照会一覧 (1)

| 文書 番号 | 照会年月日 | 市遺跡 No. | 遺跡名 | 所在地 | 調査原因 | 調査対象面積 | 調査方法/ 処置及び結果 |
|----------|-------------------|------------|---------|----------------|----------|-------------------------|-----------------|
| 文 323 | 平成 28 年 9 月 2 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市南魚町 | 個人住宅 | 71.32 m ² | 立会調査 |
| 文 332 | 平成 28 年 9 月 8 日 | b-43 | 多度 A 遺跡 | 桑名市多度町多度 | 電柱、支線取付 | 0.40 m ² | 立会調査 |
| 文 333 | 平成 28 年 9 月 9 日 | b-71 | 砂田遺跡 | 桑名市多度町猪飼 | 電柱、支線撤去 | 0.49 m ² | 立会調査指示 →顛末書 |
| 文 334 | 平成 28 年 9 月 9 日 | a-80 | 宇賀遺跡 | 桑名市大字蓮花寺字惣作 | 個人住宅 | 62.47 m ² | 立会調査 |
| 文 340 | 平成 28 年 9 月 14 日 | a-74 | 横長遺跡 | 桑名市大字額田 | 電柱新設 | 0.17 m ² | 立会調査 |
| 文 341 | 平成 28 年 9 月 15 日 | a-100 | 桑名城跡 | 桑名市三之丸 | ガス管理設 | 130.12 m ² | 立会調査 |
| 文 342 | 平成 28 年 9 月 16 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市柳原 | 個人住宅 | 49.36 m ² | 立会調査 |
| 文 347 | 平成 28 年 9 月 16 日 | a-121 | 古屋敷遺跡 | 桑名市大字東金井古屋敷 | 個人住宅 | 67.07 m ² | 建設中止 |
| 文 351 | 平成 28 年 9 月 21 日 | b-100 | 大鳥居城跡 | 桑名市多度町大鳥居字前並 | 電柱、支線取付 | 0.13 m ² | 立会調査 |
| 文 352 | 平成 28 年 9 月 21 日 | a-130 | 寺跡遺跡 | 桑名市大字大福字寺跡 | 調剤薬局 | 42.93 m ² | 慎重工事 |
| 文 376 | 平成 28 年 9 月 30 日 | b-44 | 多度 B 遺跡 | 桑名市多度町柚井 | 電柱、支線設置 | 0.13 m ² | 立会調査 |
| 文 381 | 平成 28 年 9 月 30 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市内堀 | 個人住宅 | 108.66 m ² | 立会調査 |
| 文 382 | 平成 28 年 10 月 6 日 | - | 該当なし | 桑名市大字江場 | ガス管理設 | 11.96 m ² | 施工可 |
| 文 398 | 平成 28 年 10 月 11 日 | a-111 | 能部北貝戸遺跡 | 桑名市大字能部字北貝戸 | 変電施設基礎試掘 | 1.00 m ² | 立会調査 |
| 文 399 | 平成 28 年 10 月 12 日 | a-96 | 矢田城跡 | 桑名市大字矢田字城山 | 急傾斜地対策工事 | 290.00 m ² | 立会調査 |
| 文 406 | 平成 28 年 10 月 21 日 | a-91 | 東浦遺物散布地 | 桑名市大字太夫 | 下水道管布設 | 2,170.00 m ² | 立会調査 |
| 文 407 | 平成 28 年 10 月 20 日 | a-100 | 桑名城跡 | 桑名市三之丸 | ガス管理設 | 34.93 m ² | 立会調査 |
| 文 414 | 平成 28 年 10 月 25 日 | b-29 | 石坪遺跡 | 桑名市多度町小山字馬場 | 倉庫建設 | 84.51 m ² | 慎重工事 |
| 文 441 | 平成 28 年 11 月 9 日 | - | 該当なし | 桑名市大字桑部字篠原 | 個人住宅 | 66.77 m ² | 施工可 |
| 文 442 | 平成 28 年 11 月 11 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市柳原 | 個人住宅 | 86.37 m ² | 立会調査 |
| 文 446 | 平成 28 年 11 月 15 日 | a-80 | 宇賀遺跡 | 桑名市大字蓮花寺字宇賀 | 個人住宅 | 90.25 m ² | 立会調査 |
| 文 447 | 平成 28 年 11 月 15 日 | a-38 | 新井水掛遺跡 | 桑名市大字大仲新田字新井水掛 | 個人住宅 | 71.86 m ² | 立会調査 |
| 文 453 | 平成 28 年 11 月 18 日 | b-68 | 石坪遺跡 | 桑名市多度町肱江 | 電柱新設 | 0.09 m ² | 工事立会 |
| 文 454 | 平成 28 年 11 月 17 日 | a-111 | 能部北貝戸遺跡 | 桑名市大字能部字北貝戸 | 変電所 | 500.00 m ² | 発掘調査 |
| 文 456 | 平成 28 年 11 月 24 日 | a-100 | 桑名城跡 | 桑名市吉之丸 | 個人住宅 | 64.59 m ² | 立会調査 |
| 文 467 | 平成 28 年 11 月 25 日 | b-62 | 藤塚遺跡 | 桑名市多度町戸津字藤塚 | 河川改良 | 93.60 m ² | 慎重工事 |
| 文 477 | 平成 28 年 12 月 2 日 | b-95 | 下野代遺跡 | 桑名市多度町下野代字石ノ塔 | 農業用水路改修 | 100.00 m ² | 立会調査 |
| 文 483 | 平成 28 年 12 月 12 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市京町 | 電柱建替 | 1.00 m ² | 工事立会指示 →建設中止 |
| 文 484 | 平成 28 年 12 月 13 日 | b-43 | 多度 A 遺跡 | 桑名市多度町多度字野之宮 | 個人住宅 | 75.35 m ² | 立会調査 |
| 文 492 | 平成 28 年 12 月 15 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市新町 | 共同住宅 | 121.58 m ² | 発掘調査 |
| 文 495 | 平成 28 年 12 月 15 日 | b-21 | 関東遺跡 | 桑名市多度町柚井 | 側溝修繕 | 120.00 m ² | 慎重工事 |
| 文 506 | 平成 28 年 12 月 22 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市新屋敷 | 電柱新設・撤去 | 1.00 m ² | 工事立会 |
| 文 507 | 平成 28 年 12 月 28 日 | b-57 | 天王平遺跡 | 桑名市多度町小山 | 電柱建替 | 0.98 m ² | 工事立会 |
| 文 511 | 平成 28 年 12 月 28 日 | a-100 | 桑名城跡 | 桑名市吉之丸 | 解体工事 | 673.61 m ² | 慎重工事 |

表 2 所在照会一覧 (2)

| 文書 番号 | 照会年月日 | 市遺跡 No. | 遺跡名 | 所在地 | 調査原因 | 調査対象面積 | 調査方法/ 処置及び結果 |
|----------|-------------------|------------------|---------------------------|--------------------|-------------------------------|--------|-----------------|
| 文 514 | 平成 28 年 12 月 14 日 | - | 該当なし | 桑名市播磨 | 播磨浄水場安全 対策設備修繕工 事 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市三崎 | 内径 200 耗送水 管布設替工事(木 曾岬) | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市多度町力尾 | 流量計設置工事 (力尾) | | 施工可 |
| | | b-95 | 下野代遺跡 | 桑名市多度町 | 野代導水ポンプ 所場内整備工事 | | 要協議 |
| | | - | 該当なし | 桑名市多度町 | 沢地浄水場場内 整備工事 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市多度町御衣野 | 構造物撤去工事 (御衣野) | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市長島町小島～長島町 千倉 | 導水管路弁室修 繕工事(四期・ 長島) | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市多度町御衣野 | 沢地浄水場汚泥 引抜返送ポンプ 改良工事 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市五反田字多々星 | 桑名市五反田事 案恒久対策(分 一3) 工事 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市五反田源十郎新田 | 桑名市五反田源 十郎新田事案支 障除去対策工事 | | 施工可 |
| | | a-32 - | 蛸塚貝塚 ヒメタイコウチ | 桑名市大字蛸塚新田 | 県営ため池等整 備事業 蛸塚大溜 池地区 | | 要協議 |
| | | - | 該当なし | 桑名市桑部 | 河川改修事業 二級河川員弁川 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市志知 | 河川改修事業 二級河川三弧子川 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市下深谷部 | 河川改修事業 二級河川三砂川 | | 施工可 |
| | | a-94 | 西方台地 A 遺跡 | 桑名市上野 | 急傾斜地崩壊対 策 上野1地区 | | 要協議 |
| | | a-71 | 額田城跡 | 桑名市額田 | 急傾斜地崩壊対 策 額田地区 | | 要協議 |
| | | - | 該当なし | 桑名市長島町浦安 | 海岸高潮対策事 業 長島地区海岸 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市福岡町～福江 | 海岸高潮対策事 業 城南第一地区 海岸 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市大字巖新田 | 国災第 36 号弁天 川災害復旧事業 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市多度町古野 | 国災第 41 号肱江 川災害復旧事業 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市多度町御衣野 | 国災第 42 号肱江 川災害復旧事業 | | 施工可 |
| | | a-83 | 柳遺跡 | 桑名市稗田 | 道路改良事業(主) 桑名大安線 | | 要協議 |
| | | a-83 - | 柳遺跡 ヒメタイコウチ | 桑名市西別所 | 街路事業 桑部播 磨線 | | 要協議 |
| | | - | 該当なし | 桑名市嘉例川 | 道路改良事業(主) 四日市多度線 | | 施工可 |
| | | a-1 b-95 - | 駒ヶ谷遺跡 下野代遺跡 ヒメタイコウチ | 桑名市多度町 | 道路改良事業(一) 御衣野下野代線 | | 要協議 |
| | | - | 該当なし | 桑名市桑部 | 交通安全事業(主) 桑名大安線 | | 施工可 |

表 3 所在照会一覧 (3)

| 文書番号 | 照会年月日 | 市遺跡No. | 遺跡名 | 所在地 | 調査原因 | 調査対象面積 | 調査方法/ 処置及び結果 |
|-------|------------------|------------------|---------------------------|--------------|----------------------------|-------------------------|-----------------|
| | | - | 該当なし | 桑名市嘉例川 | 橋梁耐震補強事業(新嘉例川橋) | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市長島町福吉 | 橋梁耐震補強事業(福吉橋) | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市額田 | 橋梁耐震補強事業(坂井橋) | | 施工可 |
| | | a-83 | 柳遺跡 | 桑名市稗田 | 道路改良事業(主)桑名大安線 | | 要協議 |
| | | a-83 - | 柳遺跡 ヒメタイコウチ | 桑名市西別所 | 街路事業 桑部播磨線 | | 要協議 |
| | | - | 該当なし | 桑名市嘉例川 | 道路改良事業(主)四日市多度線 | | 施工可 |
| | | a-1 b-95 - | 駒ヶ谷遺跡 下野代遺跡 ヒメタイコウチ | 桑名市多度町 | 道路改良事業(-)御衣野下野代線 | | 要協議 |
| | | - | 該当なし | 桑名市桑部 | 交通安全事業(主)桑名大安線 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市嘉例川 | 橋梁耐震補強事業(新嘉例川橋) | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市長島町福吉 | 橋梁耐震補強事業(福吉橋) | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市額田 | 橋梁耐震補強事業(坂井橋) | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市赤尾 | 道路交通安全対策事業(主)桑名大安線 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市多度町北猪飼 | 交通安全対策事業(主)大泉多度線 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市額田 | 一般国道421号災害復旧工事 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市嘉例川 | (主)四日市多度線災害復旧工事 | | 施工可 |
| | | - | 該当なし | 桑名市大字大木 | (主)菰野東員線災害復旧工事 | | 施工可 |
| 文 517 | 平成 29 年 1 月 5 日 | b-93 | 石原遺跡 | 桑名市多度町御衣野 | 電柱建替 | 0.09 m ² | 工事立会 |
| 文 523 | 平成 29 年 1 月 12 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市川口町 | 個人住宅 | 194.82 m ² | 立会調査 |
| 文 559 | 平成 29 年 2 月 1 日 | a-100 | 桑名城跡 | 桑名市三之丸 | 宅地造成 | 1,419.54 m ² | 工事立会 |
| 文 585 | 平成 29 年 2 月 9 日 | c-14 | 長島城下町遺跡 | 桑名市長島町又木～北浜町 | 桑名東部拡幅(1号線) | | 要協議 |
| | | a-100 | 桑名城跡 | 桑名市河口～JR関西線 | 高潮堤防補強工事 | | 協議中 |
| | | c-1 | 松之木砦跡 | 桑名市長島町下坂手 | 河道掘削 | | 要協議 |
| | | c-2 | 願証寺跡 | 桑名市長島町下坂手 | 河道掘削 | | 要協議 |
| | | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市住吉町 | 国営木曾三川公園桑名七里の渡し公園住吉地区Ⅱ期 | | 要協議 |
| | | a-100 | 桑名城跡 | 桑名市三之丸町 | 国営木曾三川公園桑名七里の渡し公園七里の渡し地区Ⅰ期 | | 協議中 |
| | | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市川口町 | 国営木曾三川公園桑名七里の渡し地区Ⅱ期 | | 要協議 |
| | | - | 該当なし | 桑名市福島 | 福島防災拠点整備 | | 施工可 |
| - | 該当なし | 桑名市長島町新所 | 新所堤防整備 | | 施工可 | | |

表 4 所在照会一覧 (4)

| 文書番号 | 照会年月日 | 市遺跡No. | 遺跡名 | 所在地 | 調査原因 | 調査対象面積 | 調査方法/処置及び結果 |
|-------|------------------|---------------|-----------------|-------------|----------|-----------------------|-------------|
| 文 600 | 平成 29 年 2 月 15 日 | a-128 | 勢以口遺跡 | 桑名市大字江場字正金縄 | 共同住宅 | 489.50 m ² | 工事立会 |
| 文 601 | 平成 29 年 2 月 17 日 | a-100 | 桑名城跡 | 桑名市三之丸 | 個人住宅 | 42.23 m ² | 工事立会 |
| 文 602 | 平成 29 年 2 月 17 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市新屋敷 | 個人住宅 | 93.54 m ² | 工事立会 |
| 文 603 | 平成 29 年 2 月 21 日 | a-137 | 真改遺跡 | 桑名市大字東野 | ガス工事 | 10.00 m ² | 工事立会 |
| 文 604 | 平成 29 年 2 月 21 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市東鍋屋町 | 個人住宅 | 50.65 m ² | 工事立会 |
| 文 609 | 平成 29 年 2 月 24 日 | a-100 | 桑名城跡 | 桑名市吉之丸 | 植樹 | 1.40 m ² | 立会調査 |
| 文 624 | 平成 29 年 3 月 3 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市柳原 | 個人住宅 | 82.81 m ² | 工事立会 |
| 文 633 | 平成 29 年 3 月 13 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市三崎通 | 電柱建替 | 0.30 m ² | 工事立会 |
| 文 634 | 平成 29 年 3 月 13 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市外堀 | 電話柱建替 | 0.30 m ² | 工事立会 |
| 文 635 | 平成 29 年 3 月 13 日 | a-128 | 勢以口遺跡 | 桑名市江場 | 電話柱建替 | 1.30 m ² | 工事立会 |
| 文 636 | 平成 29 年 3 月 13 日 | a-100 | 桑名城跡 | 桑名市三之丸 | 電柱建替 | 0.30 m ² | 工事立会 |
| 文 637 | 平成 29 年 3 月 13 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市外堀 | 電話柱建替 | 0.90 m ² | 工事立会 |
| 文 638 | 平成 29 年 3 月 13 日 | a-130 | 寺跡遺跡 | 桑名市江場 | 電話柱建替 | 0.60 m ² | 工事立会 |
| 文 652 | 平成 29 年 3 月 17 日 | a-99 a-100 | 桑名城下町遺跡 桑名城跡 | 桑名市吉之丸、新屋敷 | 防災無線施設設置 | 1.00 m ² | 発掘調査 |
| 文 655 | 平成 29 年 3 月 27 日 | a-99 | 桑名城下町遺跡 | 桑名市新屋敷 | 個人住宅 | 70.75 m ² | 工事立会 |

表 5 所在照会一覧 (5)

| 報告書番号 | 層位/遺構 | 器種 | 法量 (cm) | | | | | 調整・技法の特徴等 |
|-------|-------|-------|---------|--------|-------|-----|-------|-----------------------------|
| | | | 瓦当径 | 文様区径 | 内区径 | 周縁高 | 丸瓦部厚さ | |
| 1 | 3層 | 瓦 軒丸瓦 | (16.8) | (14.0) | (9.2) | 0.3 | 3.3 | 飛雲文単弁十三葉蓮華文、蓮子1+4、全体にナデ・ケズリ |

| 報告書番号 | 層位/遺構 | 器種 | 法量 (cm) | | | 調整・技法の特徴等 |
|-------|-------|-------|---------|-------|-------|---------------------------------------|
| | | | 瓦当部縦幅 | 瓦当部横幅 | 平瓦部厚さ | |
| 2 | 3層 | 瓦 軒平瓦 | 4.5 | - | 4.5 | 瓦当面縄叩きのちナデ、凹面磨耗、凸面ナデ・ケズリ、広端部側の凸面端部面取り |

| 報告書番号 | 層位/遺構 | 器種 | 法量 (cm) | | | | 調整・技法の特徴等 |
|-------|-----------|------|---------|------|------|-------|-------------------------|
| | | | 全長 | 広端部幅 | 狭端部幅 | 厚さ | |
| 3 | 7層 (遺物 A) | 瓦 平瓦 | - | - | - | 2.2 | 凹面と一部側面に布目圧痕、凸面磨耗 |
| 4 | 7層 (遺物 A) | 瓦 平瓦 | - | - | - | 2.5 | 凹面磨耗、凸面縄叩き |
| 5 | 3層 | 瓦 平瓦 | - | - | - | 2.0 | 凹面布目圧痕、凸面縄叩き |
| 6 | 1層 | 瓦 平瓦 | - | - | - | 1.7 | 凹面布目圧痕、凸面縄叩き、端部・側面ケズリ |
| 7 | 1層 | 瓦 平瓦 | - | - | - | 2.3 | 凸面ナデ、凹面布目圧痕、側面ケズリ |
| 8 | 1層 | 瓦 平瓦 | - | - | - | 1.5 | 凹面布目圧痕、凸面縄叩き |
| 9 | 3層 | 瓦 丸瓦 | - | - | - | 1.8 | 玉縁式、凹面布目圧痕、凸面ナデ |
| 10 | 3層 | 瓦 丸瓦 | - | - | - | (2.3) | 玉縁式、凹面布目圧痕、凸面磨耗、端部ケズリ |
| 11 | 1層 | 瓦 丸瓦 | - | - | - | 2.4 | 凹面と一部側面に布目圧痕、凸面磨耗、端部ケズリ |

表 6 西方廃寺 遺物観察表

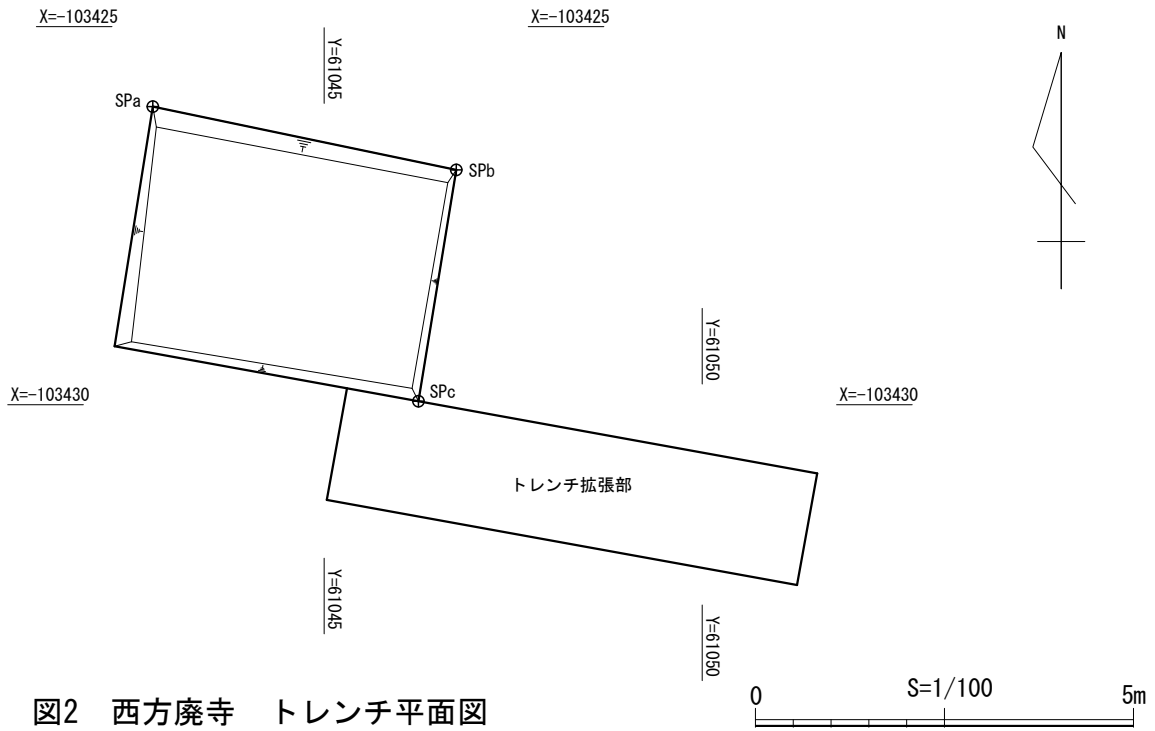


図2 西方廃寺 トレンチ平面図

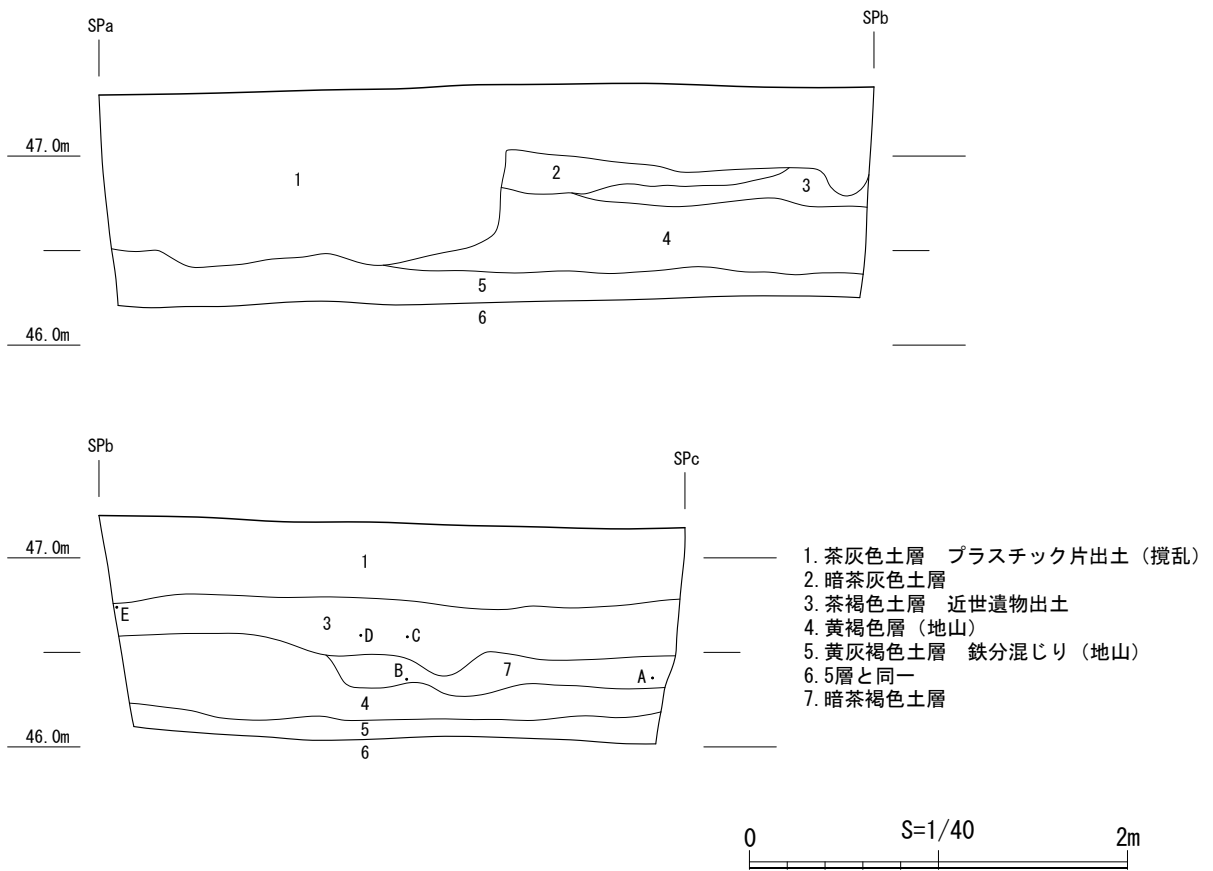


図3 西方廃寺 トレンチ土層断面図

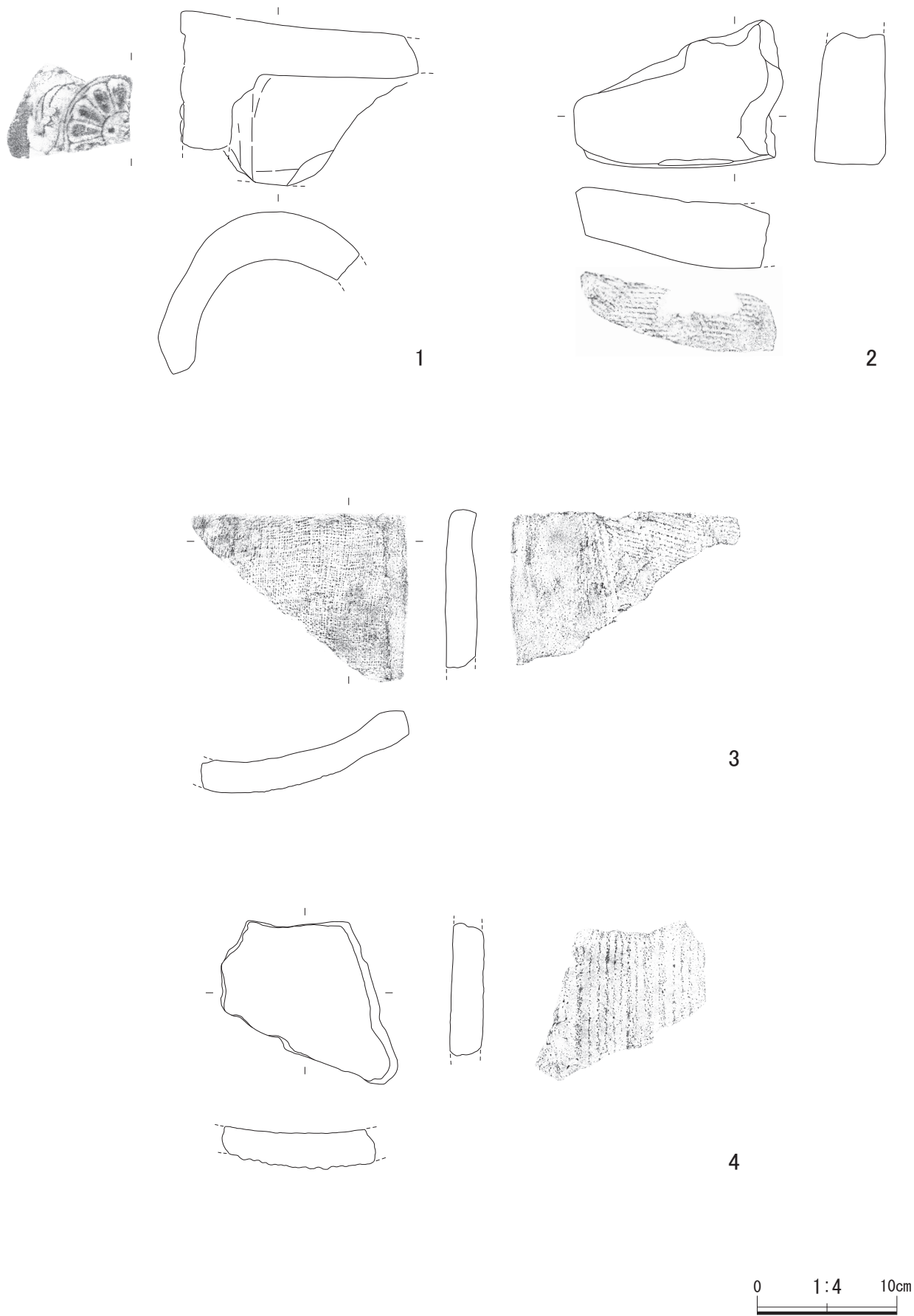
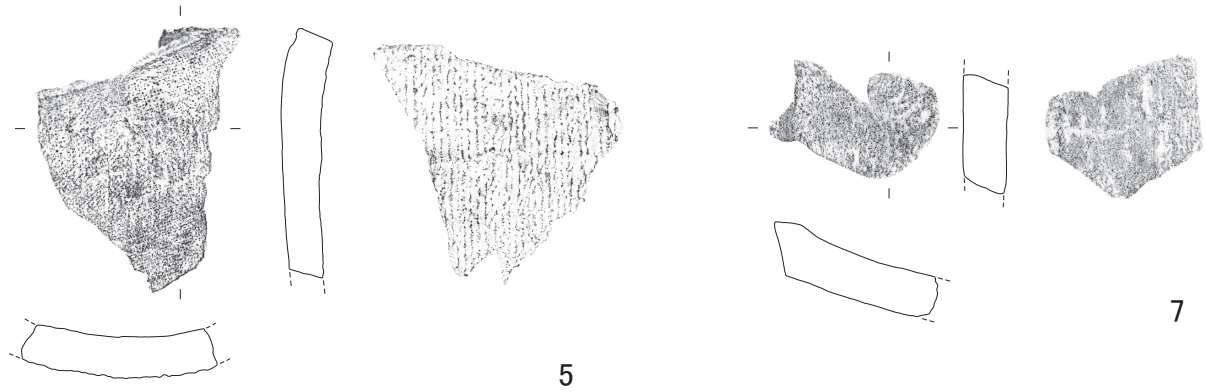
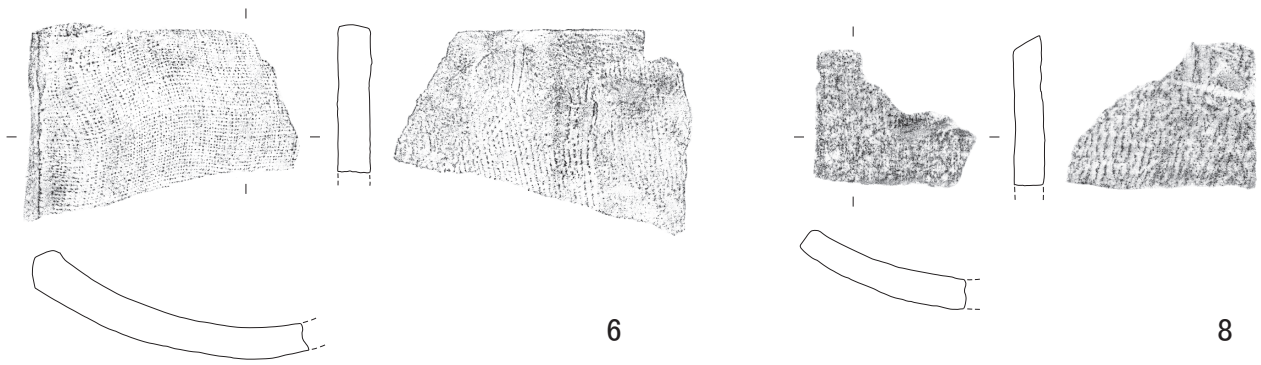


图4 西方廃寺 遺物実測図 (1)



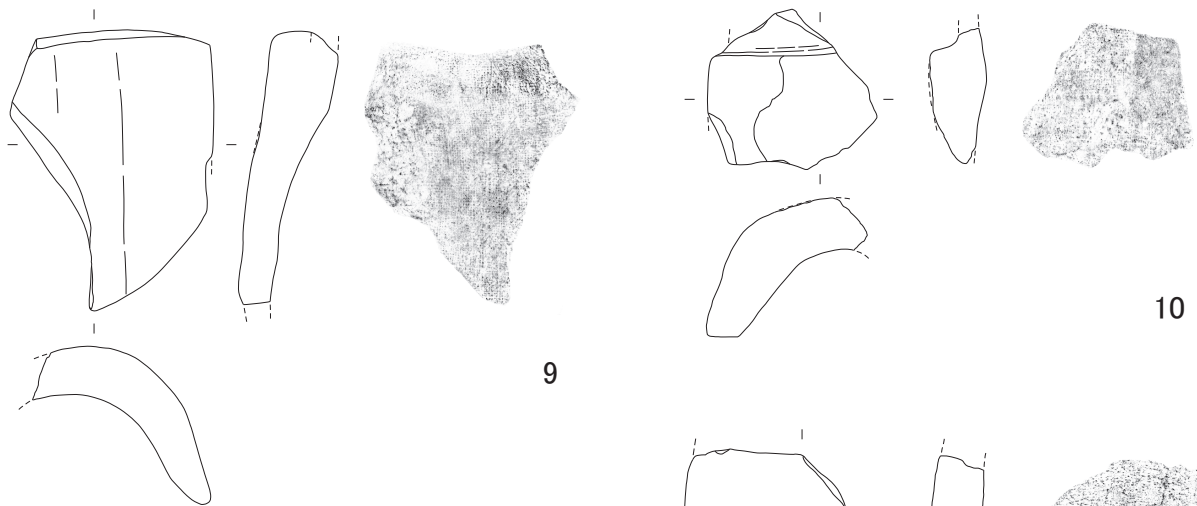
5

7



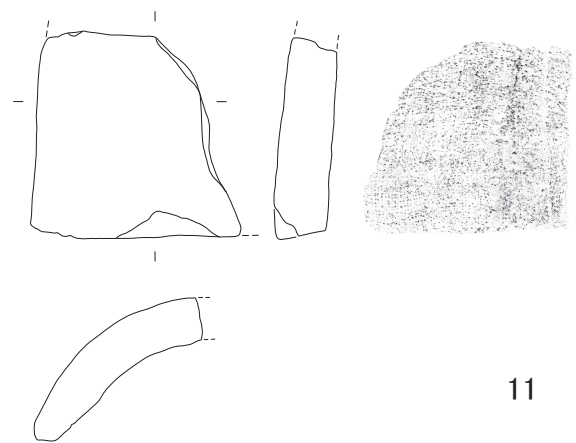
6

8



9

10



11

0 1:4 10cm

图5 西方廃寺 遺物実測図 (2)



トレンチ全景（南東方向から）



南向き壁断面



西向き壁断面

写真図版1 西方廃寺発掘調査風景



軒丸瓦 (1)



平瓦 (2)



平瓦 (4) 凹面



平瓦 (4) 凸面



平瓦 (5) 凹面



平瓦 (5) 凸面



平瓦 (6) 凹面



平瓦 (6) 凸面

第3章 文化財の普及・公開

1. 文化財出前講座

| 学校名 | 学年 | テーマ | 開催日 |
|---------|------|-------------|-------------|
| 日進小学校 | 6年 | 発掘された桑名の古墳 | 平成28年5月24日 |
| 日進小学校 | 6年 | 仏教と貴族の文化 | 平成28年6月3日 |
| 精義小学校 | 2年 | 戦争中の暮らし | 平成28年12月8日 |
| 精義小学校 | 4年 | 戦争中の暮らし | 平成28年12月8日 |
| 立教小学校 | 6年 | 勾玉作り体験 | 平成28年6月16日 |
| 益世小学校 | 6年 | 発掘された桑名の古墳 | 平成28年4月26日 |
| 修徳小学校 | 6年 | 米作りの遺跡 | 平成28年5月2日 |
| 修徳小学校 | 6年 | 発掘された桑名の古墳 | 平成28年5月23日 |
| 桑部小学校 | 6年 | 勾玉作り体験 | 平成28年10月6日 |
| 久米小学校 | 6年 | 発掘された桑名の古墳 | 平成28年4月27日 |
| 久米小学校 | 6年 | 発掘された桑名の古墳 | 平成28年5月6日 |
| 城南小学校 | 6年 | 発掘された桑名の古墳 | 平成28年5月19日 |
| 大山田東小学校 | 6年 | 発掘された桑名の古墳 | 平成28年5月17日 |
| 大山田北小学校 | 6年 | 米作りの遺跡 | 平成28年4月18日 |
| 大山田北小学校 | 6年 | 発掘された桑名の古墳 | 平成28年5月16日 |
| 星見ヶ丘小学校 | 5・6年 | 戦争中の暮らし | 平成28年8月5日 |
| 多度東小学校 | 6年 | 仏教と貴族の文化 | 平成28年5月23日 |
| 多度東小学校 | 6年 | 江戸時代の暮らし | 平成28年10月13日 |
| 多度中小学校 | 5年 | 戦争中の暮らし | 平成28年8月9日 |
| 多度中小学校 | 6年 | 発掘された桑名の古墳 | 平成28年5月10日 |
| 多度中小学校 | 6年 | 長島一向一揆と戦国の城 | 平成28年7月13日 |
| 多度中小学校 | 6年 | 勾玉作り体験 | 平成28年7月23日 |
| 長島中部小学校 | 6年 | 発掘された桑名の古墳 | 平成28年5月6日 |
| 長島中部小学校 | 6年 | 長島一向一揆と戦国の城 | 平成28年7月19日 |
| 深谷教育集会所 | 全学年 | 勾玉作り体験 | 平成28年8月26日 |

2. 資料貸出

| | |
|----------|-----------------------------|
| 品名 | 桑名城下町遺跡出土遺物 1式 |
| 貸出先／貸出場所 | 朝日町歴史博物館 |
| 貸出期間 | 平成28年12月6日（火）～平成29年2月22日（水） |
| 目的 | 企画展「むかしむかし－歴史と伝説－」への出陳のため |

3. ふれあい歴史教室

| | 開催日 | 開催場所 |
|-------------------|---------------------|-------|
| 「かれがわ田んぼの生きもの観察会」 | 平成 28 年 7 月 30 日（土） | 嘉例川地区 |

4. 国指定天然記念物「多度のイヌナシ自生地」

| | 開催日 | 開催場所 |
|----------------|---------------------|------------------|
| イヌナシの花を見る会 | 平成 28 年 4 月 16 日（土） | 多度地区 |
| イヌナシサミット in 多度 | 平成 28 年 8 月 11 日（木） | 多度町総合支所3階 304会議室 |
| イヌナシ自生地保全活動 | 平成 28 年 9 月 24 日（土） | 多度地区 |

5. 文化財関係刊行物

『文化財調査報告書～平成 26 年度～』

6. 講演会・講座

歴史の案内人フォローアップ講座

| 講座名 | 講師 | 開催日 | 開催場所 |
|------------------|--------------|---------------------|---------------------|
| 「伊勢桑名の刀工 村正の虚と実」 | 福井款彦 氏（熱田神宮） | 平成 28 年 10 月 2 日（日） | 桑名市中央公民館 2階 大研修室 |

7. 施設案内

桑名市石取会館

| 学校（団体）名 | 学年 | 開催日 |
|----------------|--------|-------------------|
| 鈴鹿市立神戸小学校 | 6 年 | 平成 28 年 4 月 22 日 |
| 鈴鹿市立長太小学校 | 5・6 年 | 平成 28 年 4 月 28 日 |
| 学校法人水谷学園くわな幼稚園 | | 平成 28 年 5 月 27 日 |
| 桑名市立立教幼稚園 | 4～5 歳児 | 平成 28 年 7 月 6 日 |
| 養老町中央公民館生涯学習講座 | | 平成 28 年 7 月 8 日 |
| 桑名市立修徳小学校 | 6 年生 | 平成 28 年 9 月 13 日 |
| 桑名市立長島中学校悠分校 | | 平成 28 年 9 月 21 日 |
| 桑名市立長島中部小学校 | 3 年生 | 平成 28 年 10 月 13 日 |
| 桑名市立長島北部小学校 | 3 年生 | 平成 28 年 11 月 10 日 |
| 大成学童保育所日の本クラブ | 1～5 年生 | 平成 29 年 1 月 6 日 |
| 桑名市立大山田南小学校 | | 平成 29 年 2 月 3 日 |
| 桑名市立大山田南小学校 | | 平成 29 年 3 月 3 日 |
| 桑名市立大山田西小学校 | | 平成 29 年 3 月 8 日 |
| 桑名市立光陵中学校 | | 平成 29 年 3 月 9 日 |

寄贈図書一覧（平成 28 年度分）

| 番号 | 書名 | 寄贈先 |
|----|---|-----------------------------|
| 1 | 大垣市埋蔵文化財調査報告書第 25 集 大垣城跡・城下町 - 大垣市立興文小学校屋内運動場建て替え工事に伴う発掘調査報告書 - | 大垣市教育委員会文化振興課文化財保護・活用推進グループ |
| 2 | 平成 27 年度野洲市文化財調査概要報告書 | 野洲市教育委員会文化財保護課 |
| 3 | 平成 27 年度野洲市埋蔵文化財調査概要報告書 | |
| 4 | 赤穂市文化財調査報告書 83 赤穂市立有年考古館報告書第 3 冊 有年考古第 3 号 - 赤穂市立有年考古館年報（平成 26 年度） - | 赤穂市教育委員会事務局生涯学習課 |
| 5 | 港区立湊郷土資料館 資料館だより第 77 号 | 港区立郷土資料館 |
| 6 | 港郷土資料館館報 -33- 平成 26 年度版（2014 年度版） | |
| 7 | 奈良県桜井市 史跡纏向遺跡・史跡纏向古墳群 - 保存活用計画書 - | 桜井市立埋蔵文化財センター |
| 8 | 桜井市埋蔵文化財発掘調査報告書第 45 集 桜井市平成 26 年度国庫補助による発掘調査報告書 大福遺跡第 32 次調査 安倍寺跡第 22 次調査 | |
| 9 | 桜井市内遺跡発掘調査報告書 -2013 年度 - 高田遺跡第 3 次調査 大藤原京関連遺跡第 60 次調査 横内遺跡第 9 次調査 横内遺跡第 10 次調査 纏向遺跡第 179 次調査 戒重遺跡第 2 次調査 纏向遺跡 181 次調査 東新堂遺跡第 12 次調査 大藤原京関連遺跡第 61 次調査 城島遺跡第 47 次調査 吉備池遺跡第 16 次調査 | |
| 10 | 赤穂市文化財調査報告書 82 発掘された赤穂城下町 3 - 民間開発に伴う赤穂城下町跡発掘調査報告書 1- | 赤穂市教育委員会事務局生涯学習課 |
| 11 | 三重県多気郡明和町斎宮跡埋蔵文化財調査報告 32 史跡斎宮跡 平成 26 年度現状変更緊急発掘調査報告 | 明和町斎宮跡・文化観光課 |
| 12 | 大針 16 号窯・北丘 30 号窯発掘調査報告書 - 多治見市埋蔵文化財発掘調査報告書第 93 号 - | 多治見市文化財保護センター |
| 13 | 国指定史跡骨寺村荘園遺跡 平成 27 年度調査概要 | 福井市教育委員会文化財保護課 |
| 14 | 岩手県一関市埋蔵文化財発掘調査報告書第 20 集 骨寺村荘園遺跡確認調査報告書 白山社及び駒形根神社・梅木田遺跡・平泉野遺跡 | |
| 15 | 平成 26 年度年報 | |
| 16 | 平成 22 年度企画展 大陸をみつめた王たち～ 5 世紀のふくいから～ | |
| 17 | 平成 22 年度企画展 土の中の祈り | |
| 18 | 平成 22 年度発掘速報展 - 参考パンフレット - | |
| 19 | 平成 23 年度企画展 ミゾ・MIZO・みぞ～高柳遺跡の溝展～ | |
| 20 | 平成 23 年度発掘速報展 | |
| 21 | 平成 24 年度企画展 縄文人のいた時 | |
| 22 | 平成 24 年度企画展 ふるさと発掘モノ語～森田遺跡の調査から～ | |
| 23 | 平成 24 年度発掘速報展 | |
| 24 | 平成 25 年度発掘速報展 | |
| 25 | 平成 26 年度企画展 古墳誕生 | |
| 26 | 平成 26 年度企画展 墨書土器の世界 | |
| 27 | 平成 26 年度発掘速報展 | |
| 28 | 平成 27 年度企画展 「古墳絶頂」 | |
| 29 | 中世城・館・寺を掘る | |
| 30 | 平成 27 年度発掘速報展 | |
| 31 | 竜王町文化財資料集第 4 集 竜王町埋蔵文化財発掘調査資料集Ⅳ - 山之上焼・雨宮焼 編 - | 竜王町教育委員会事務局生涯学習課生涯学習係 |
| 32 | 美浜町歴史シンポジウム記録集 10 再論、若狭の古代寺院～遠敷軍の古代寺院、そして興道寺廃寺～ | 美浜町歴史文化館 |
| 33 | 美浜町埋蔵文化財調査報告第 9 集 興道寺廃寺発掘調査報告書 | 三重県環境生活部文化振興課県史編さん班 |
| 34 | 三重県史研究 第 31 号 | |
| 35 | 平成 26 年度国庫及び県費補助事業に伴う市内遺跡発掘調査等事業 静岡県磐田市 市内遺跡確認調査報告書 | 磐田市教育委員会教育部文化財課 |
| 36 | 愛知学院大学考古学発掘調査報告 21 愛知県新城市川路萩平遺跡 A 地点隣接地の発掘記録 2 | 愛知学院大学文学部歴史学科 |
| 37 | 愛知学院大学考古学発掘調査報告 22 岐阜県可児市大萱窯跡群 牟田洞窯跡 第 1・2 次発掘調査概要報告書 | |
| 38 | 但馬出石藩仙石家屋敷跡 - 虎ノ門・六本木地区市街地再開発事業地遺跡の発掘調査 - | 港区教育委員会事務局図書・文化財課文化財係 |
| 39 | 発掘調査速報展 22 50cm 下の桜井 | (公財) 桜井市文化財協会 |
| 40 | 稲沢市文化財調査報告 L XI 稲沢市内遺跡発掘調査概要報告書 (V) - 史跡尾張国分寺跡第 19 次調査 - | 稲沢市教育委員会事務局生涯学習課文化財グループ |
| 41 | 史跡尾張国分寺跡保存管理計画書 | |
| 42 | 埋蔵文化財関係統計資料 - 平成 27 年度 - | 文化庁文化財部記念物課 |
| 43 | 『日本における水中遺跡保護の在り方について』（中間まとめ） | |
| 44 | 東日本大震災の復興と埋蔵文化財保護 中間報告 | |

| 番号 | 書名 | 寄贈先 |
|----|---|---------------------|
| 45 | 姫路市埋蔵文化財センター調査報告第32集 姫路城城下町跡 - 姫路城跡第328次発掘調査報告書 - | 姫路市埋蔵文化財センター |
| 46 | 姫路市埋蔵文化財センター調査報告第33集 辻井遺跡 - 第31次発掘調査報告書 - | |
| 47 | 姫路市埋蔵文化財センター調査報告第34集 市之郷遺跡 - 第12次発掘調査報告書 - | |
| 48 | 姫路市埋蔵文化財センター調査報告第35集 姫路城下町跡 - 姫路城跡第334次発掘調査報告書 - | |
| 49 | 姫路市埋蔵文化財センター調査報告第36集 畑田遺跡 - 第26次発掘調査報告書 - | |
| 50 | 姫路市埋蔵文化財センター調査報告第37集 辻井廃寺第32次発掘調査報告書 | |
| 51 | 姫路市埋蔵文化財センター調査報告第38集 君田遺跡発掘調査報告書 | |
| 52 | 姫路市埋蔵文化財センター調査報告第39集 辻井遺跡 - 第33次発掘調査報告書 - | |
| 53 | 姫路市埋蔵文化財センター調査報告第40集 姫路城城下町跡 - 姫路城跡第345次発掘調査報告書 - | |
| 54 | 姫路市埋蔵文化財センター調査報告第41集 姫路城城下町跡 - 姫路城跡第348次発掘調査報告書 - | |
| 55 | 国指定重要文化財 宮山古墳出土品 | |
| 56 | 宮山古墳 | |
| 57 | TSUBOHORI2015 - 姫路市埋蔵文化財調査略報 - | |
| 58 | 御着城跡 | |
| 59 | 鈴鹿山地カモシカ保護地域第5回特別調査報告書(平成26・27年度) | 三重県教育委員会社会教育・文化財保護課 |
| 60 | 史跡美濃金山城 保存活用計画書 | 可児市教育委員会文化財課 |
| 61 | 国立歴史民俗博物館研究報告 第201集 | 国立歴史民俗博物館 |
| 62 | 和歌山市内遺跡発掘調査概報 - 平成26年度 - | 和歌山市教育委員会文化振興課文化財班 |
| 63 | 史跡熊野参詣道(伊勢路)横垣峠道災害復旧事業報告書 | 御浜町教育委員会教育課生涯学習係 |
| 64 | 養老町埋蔵文化財調査報告書第7集 日吉遺跡発掘調査報告書 - 第1～3次発掘調査の成果 - | 養老町教育委員会生涯学習課 |
| 65 | 東近江市埋蔵文化財調査報告書第28集 市内遺跡の調査 | 東近江市埋蔵文化財センター |
| 66 | 東近江市埋蔵文化財調査報告書第29集 能登川石田遺跡(34-1次)能登川横田遺跡(2次)大森陣屋遺跡(4次) | |
| 67 | 横須賀市文化財調査報告書第53集 宗元寺跡E地点確認調査報告 近代化遺産・近代遺跡調査概報集Ⅷ 埋蔵文化財発掘調査概報集ⅩⅩⅠ | |
| 68 | 史跡熊野参詣道(伊勢路)横垣峠道災害復旧事業報告書 | 御浜町教育委員会教育課生涯学習係 |
| 69 | 庄原市教育委員会発掘調査報告書28 佐田谷・佐田峠墳墓発掘調査報告書 調査編(1) | 庄原市教育委員会生涯学習課文化財係 |
| 70 | 庄原市文化財だより 第4号 | |
| 71 | 伊豆の国市文化財年報2(平成26年度文化財概要報告) | 伊豆の国市教育委員会教育部文化財課 |
| 72 | 特別史跡 遠江国分寺跡 - 本編 - | 磐田市教育委員会教育部文化財課 |
| 73 | 研究紀要18 平成27年度 | 港区立郷土資料館 |
| 74 | 愛西市文化財調査報告書第2集 八竜遺跡 | 愛西市教育委員会教育部生涯学習課 |
| 75 | 朝来市歴史文化基本構想 | 朝来市教育委員会事務局文化財課 |
| 76 | 栗東市埋蔵文化財調査報告 2014(平成26)年度 年報 | 公益財団法人栗東市体育協会 |
| 77 | 柏崎市埋蔵文化財調査報告書第81集 丘江 - 新潟県柏崎市 丘江遺跡発掘調査報告書 - | 柏崎市教育委員会博物館埋蔵文化財係 |
| 78 | 柏崎市埋蔵文化財調査報告書第82集 軽井川南遺跡群Ⅳ - 新潟県柏崎市軽井川南遺跡群発掘調査報告書 - | |
| 79 | 柏崎市埋蔵文化財調査報告書第83集 柏崎市の遺跡25 - 新潟県柏崎市市内遺跡 平成25年度後半期・平成26年度前半期試掘調査等報告書 - | |
| 80 | 鈴鹿市考古博物館年報第17号 平成26年度版 | 鈴鹿市考古博物館 |
| 81 | 速報展発掘された鈴鹿2015 | |
| 82 | 磐城山遺跡(第6・7次)発掘調査報告書 - 農地改良工事に伴う緊急発掘調査 - | |
| 83 | 平田遺跡発掘調査報告書 - 御門垣内地区の調査 - | |
| 84 | 伊勢国府跡18 | |
| 85 | 企画展 黄金輝く信長・秀吉の瓦 | |
| 86 | 特別展 鹿 - 『鹿と古代人』その後 - | |
| 87 | いなべ市埋蔵文化財調査報告 市道大井田3区292号線道路改良工事に伴う見城遺跡1次・2次発掘調査報告 | いなべ市教育委員会生涯学習課 |
| 88 | 史跡旧豊宮崎文庫保存管理活用計画 | 伊勢市教育委員会文化振興課 |
| 89 | 四日市市埋蔵文化財発掘調査報告書51 大膳寺跡6 | 四日市市教育委員会社会教育課 |
| 90 | 2015年伊賀市文化財年報12 | 伊賀市教育委員会事務局文化財課 |
| 91 | 史跡齋宮跡東部西部事業報告書 | 齋宮歴史博物館調査研究課 |
| 92 | 史跡齋宮跡平成26年度発掘調査概報 | |
| 93 | 静岡県湖西市市内窠跡分布調査報告書 市内遺跡確認調査報告書 - 平成25・26年度 - | 湖西市教育委員会文化課文化財係 |
| 94 | 新居関跡 - 第12次～第15次調査・遺構 - | |

| 番号 | 書名 | 寄贈先 |
|-----|---|---------------------|
| 95 | 都田山十六遺跡 2 | 浜松市埋蔵文化財調査事務所 |
| 96 | 可児市埋文調査報告 48 大萱古窯跡群発掘調査報告書 - 牟田洞古窯跡・大萱窯下古窯跡 - | 可児市教育委員会文化財課 |
| 97 | 加東市文化財年報 -2011・2012・2013 年度 - | 加東市教育委員会生涯学習課文化財係 |
| 98 | 加東市文化財年報 -2014 年度 - | |
| 99 | 古代 第 139 号 | 早稲田大学考古学会 |
| 100 | 浜松城跡 11 | 浜松市埋蔵文化財調査事務所 |
| 101 | 三重県史 通史編「原始・古代」 | 三重県環境生活部文化振興課県史編さん班 |
| 102 | 安城市埋蔵文化財発掘調査報告書 第 37 集 平成 5 年度～ 13 年度市内遺跡調査報告 | 安城市教育委員会文化振興課文化財係 |
| 103 | 安城市埋蔵文化財発掘調査報告書 第 38 集 平成 25 年度市内遺跡調査報告 | |
| 104 | 史跡下高橋官衙遺跡周辺遺跡 6 (下高橋上野遺跡第 10 次調査) 福岡県三井郡大刀洗町大字下高橋所在遺跡の調査 大刀洗町文化財調査報告書第 52 集 | 大刀洗町教育委員会生涯学習課文化財係 |
| 105 | 高樋小道遺跡 4 次 高樋八田遺跡 1 次 福岡県三井郡大刀洗町大字高樋所在遺跡の調査 大刀洗町文化財調査報告書第 50 集 | |
| 106 | 八日市地方遺跡Ⅱ - 小松駅東土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 - 第 5 部土器・土製品編 第 6 部自然科学分析編 第 7 部補遺編 | 小松市埋蔵文化財センター |
| 107 | 甲府市文化財調査報告 72 甲府城下町遺跡ⅩⅢ (山梨県甲府市中央 2・4 丁目地内) - 都市計画道路「古府中環状浅原橋線」街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 - | 甲府市教育委員会生涯学習文化文化財係 |
| 108 | 高御堂古墳 | |
| 109 | 平成 25 年度市内遺跡調査概要報告書 | |
| 110 | 平成 26 年度市内遺跡調査概要報告書 | |
| 111 | 平成 27 年度市内遺跡調査概要報告書 | |
| 112 | 春日井市遺跡解説パンフレットその 2 勝川遺跡・勝川廃寺 - 環濠集落から古墳群、そして伽藍へ - | 春日井市教育委員会文化財課 |
| 113 | 民俗考古学展示室 常設展示図録 (考古編) かすがい古代史発掘 | |
| 114 | 古窯のまち春日井～その歴史的起源を探る～ | |
| 115 | 平成 28 年度特別展 山畑古墳群のあゆみ | 東大阪市立郷土博物館 |
| 116 | 史跡小峰城跡整備基本計画書 | |
| 117 | 白河市埋蔵文化財調査報告書第 72 集 白川城跡 | |
| 118 | 白河市埋蔵文化財調査報告書第 73 集 町屋遺跡発掘調査報告書 国道 294 号改良工事に伴う調査 | 白河市建設部都市政策室文化財課 |
| 119 | 白河市埋蔵文化財調査報告書第 74 集 小峰城跡発掘調査報告書 城山公園整備に伴う調査 3 | |
| 120 | 白河市埋蔵文化財調査報告書第 75 集 小峰城跡発掘調査報告書 - 福島森林管理署白河支署新築工事に伴う調査 - | |
| 121 | 港区内近世都市江戸関連遺跡発掘調査報告 61 肥前五島 (福江) 藩五島家屋敷跡遺跡発掘調査報告書 | 港区立郷土資料館 |
| 122 | 港区埋蔵文化財調査年報 13- 平成 26 年度の調査 - | |
| 123 | 元興寺文化財研究所研究報告 2015- 水野正好所長追悼論文集 - | 公益財団法人元興寺文化財研究所 |
| 124 | 大台町における石造物調査 | 大台町教育委員会 |
| 125 | 四日市大学環境情報論集 第 20 巻第 1 号 | 四日市大学学会 |
| 126 | 拓かれた扉～桜井の郷土史研究はいかにして始まったか～ | 公益財団法人桜井市文化財協会 |
| 127 | 平成 26 年度 年報 | 松阪市文化財センター |
| 128 | 豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 130 集 内田貝塚 (Ⅲ) 若宮遺跡 (Ⅶ) - 豊橋牟呂坂津土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書 - | |
| 129 | 豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 131 集 境松遺跡 (Ⅲ) 坂津寺貝塚 - 豊橋牟呂坂津土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書 - | |
| 130 | 豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 133 集 若宮遺跡 (Ⅷ)・内田貝塚 (Ⅳ)・境松遺跡 (Ⅳ) - 豊橋牟呂坂津土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書 - | |
| 131 | 豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 134 集 市内埋蔵文化財発掘調査Ⅱ - 平成 21 年度 - | 豊橋市文化財センター |
| 132 | 豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 136 集 境松遺跡 (Ⅴ)・若宮遺跡 (Ⅸ) - 豊橋牟呂坂津土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書 - | |
| 133 | 豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 137 集 西側遺跡 (Ⅹ) - 牛川西部土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書 - | |
| 134 | 豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 138 集 市内遺跡発掘調査 - 平成 25 年度 - | |
| 135 | 豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 140 集 普門寺旧境内 - 考古学調査編 - | |
| 136 | 豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 141 集 普門寺旧境内 - 総合調査編 - | |
| 137 | 蒲郡市埋蔵文化財発掘調査報告書 愛知県蒲郡市埋蔵文化財発掘調査報告書 - 馬乗古墳群・平古古墳・権現山古墳・三月第 2・3 号墳・丸山古墳 - | 蒲郡市教育委員会蒲郡市博物館 |
| 138 | 関市文化財調査報告第 35 号 関市内遺跡発掘調査報告書 - 平成 22 ～ 24 年度 - | |
| 139 | 関市文化財調査報告第 37 号 長良川の鵜飼い - 関市小瀬鵜飼習俗調査報告書Ⅱ - | 関市文化財保護センター |
| 140 | 長良川の鵜飼 - 関市小瀬鵜飼習俗調査報告書 - | |

| 番号 | 書名 | 寄贈先 |
|-----|--|---------------------------|
| 141 | 史料館研究紀要 第21号 | 大分県立先哲史料館 |
| 142 | 愛知県岡崎市岡崎城跡Ⅲ-三の丸- | 岡崎市教育委員会社会教育課文化財班 |
| 143 | 岡崎市史研究 第35号 | |
| 144 | 平成28年度公益財団法人瀬戸市文化振興財団企画展図録 織豊期の瀬戸窯と美濃窯 | 公益財団法人瀬戸市文化振興財団埋蔵文化財センター |
| 145 | 近畿自動車道名古屋神戸線(四日市JCT~亀山JCT)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査概報 | 三重県埋蔵文化財センター |
| 146 | 桜井市埋蔵文化財2003年度発掘調査報告書5 奈良県桜井市芝遺跡第32次発掘調査報告書 | 公益財団法人桜井市文化財協会 |
| 147 | 桜井市制施行60周年記念プロジェクト シンポジウム「国家誕生の地、桜井を語る」～マキムクからイワレへ、大王の歩んだ道～発表要旨集 | |
| 148 | 平成27年度埋蔵文化財年報 | 三重県埋蔵文化財センター |
| 149 | 特別展 伊勢の瓦大和の瓦 | 鈴鹿市考古博物館 |
| 150 | 高塚遺跡3 | 浜松市埋蔵文化財調査事務所 |
| 151 | 笠屋石塚遺跡-スーパーセンターオークワ関笠屋店建設工事に伴う埋蔵文化財調査報告- | ナカシャクリエイテブ株式会社 |
| 152 | 静岡県湖西市スズキ工場内第3地点古窯跡発掘調査報告書 | 湖西市教育委員会文化課文化財係 |
| 153 | 埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第146集深谷城跡(第18次) | |
| 154 | 埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第147集深谷市内遺跡XXII | |
| 155 | 埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第148集下郷遺跡X | 深谷市教育委員会文化振興課文化財係 |
| 156 | 埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第149集城北遺跡(第2次) | |
| 157 | 埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第150集小前田古墳群(第3次) | |
| 158 | 国立歴史民俗学博物館研究報告 第203集 | 国立歴史民俗博物館 |
| 159 | 安養寺跡を探る-安養寺跡発掘調査概要- | 明和町斎宮跡・文化観光課 |
| 160 | 藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業区域内遺跡群 発掘調査報告書-円行上河内遺跡第3次調査- | 玉川文化財研究所 |
| 161 | 藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業区域内遺跡群 発掘調査報告書-下土棚諏訪ノ棚遺跡第4次調査- | 玉川文化財研究所 |
| 162 | 平成28年度野洲市内遺跡発掘調査年報 | 野洲市教育委員会文化財保護課 |
| 163 | 愛知学院大学論叢 愛知学院大学文学部紀要 第46号 | 愛知学院大学文学会 |
| 164 | 港郷土資料館館報-34- 平成27年度版(2015年度版) | 港区立郷土資料館 |
| 165 | 平成26年度岐阜市市内遺跡発掘調査報告書 | 岐阜市教育委員会社会教育課文化財・市史編さん係 |
| 166 | 一般国道1号北西バイパス埋蔵文化財発掘調査概報Ⅺ | 四日市市教育委員会社会教育課 |
| 167 | 三重県埋蔵文化財調査報告373 野添大辻遺跡(第4次)~度会郡大紀町野添所在~ | 三重県埋蔵文化財センター |
| 168 | 平成27年度葛飾区埋蔵文化財調査年報 | 葛飾区教育委員会事務局生涯学習課内葛飾区遺跡調査会 |
| 169 | 葛飾区遺跡調査会調査報告書第60集 御殿山遺跡・葛飾城址 葛飾区青戸7丁目31番第2地点発掘調査報告書 | |
| 170 | 三重県埋蔵文化財調査報告323-5 北山A遺跡(第2・3・5・6次)発掘調査報告-四日市市北山町- | 三重県埋蔵文化財センター |
| 171 | 福井城跡XX レーベン福井日之出新築工事に伴う発掘調査報告書 | 福井市文化財保護センター |
| 172 | 三重県埋蔵文化財調査報告372 大久保遺跡(第3次)発掘調査報告-三重県郡菰野町潤田- | 三重県埋蔵文化財センター |
| 173 | 平成27年度浜松市埋蔵文化財調査報告 | |
| 174 | ヒラシロ遺跡~発掘調査と保存整備事業のあらまし~ | 浜松市地域遺産センター |
| 175 | 万斛西遺跡 | |
| 176 | 戦国期の国衆井伊氏ゆかりの石塔 | |
| 177 | 国立歴史民俗学博物館研究報告 第204集 | 国立歴史民俗博物館 |
| 178 | 御浜町歴史シンポジウム記録集11 古代、若狭海道~潟湖、港湾、水上交通から考える~ | 御浜町教育委員会教育課生涯学習係 |
| 179 | 興道寺廃寺 | |
| 180 | 平成27年度国・県指定無形民俗文化財現況調査報告 | 三重県教育委員会社会教育・文化財保護課 |
| 181 | 梶子遺跡18次 | 浜松市地域遺産センター |
| 182 | 平成28年度企画展 銀山攻略~第三巻 近代の夜明け 明治時代前期の多田銀銅山~ | 猪名川町教育委員会教育振興課社会教育室 |
| 183 | 猪名川町文化財調査報告書6 猪名川町内遺跡文化財調査報告書~差組・肝川地区 多田銀銅山関連遺跡 ほか~ | 猪名川町教育委員会教育振興課社会教育室 |
| 184 | 三重県多気郡明和町斎宮跡埋蔵文化財調査報告33 史跡斎宮跡 平成27年度現状変更緊急発掘調査報告書 | 明和町斎宮跡・文化観光課 |
| 185 | 名古屋市見晴台考古資料館年報33 2015(平成27)年度事業報告 | 名古屋市見晴台考古資料館 |
| 186 | 福井城跡XVII 中央公園周辺再整備事業に伴う福井城跡発掘調査報告書 | |
| 187 | 福井城跡XVIII 福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業に伴う福井城跡発掘調査報告書2 | 福井市文化財保護センター |
| 188 | 寄安・栗森遺跡II 森田北東部土地区画整理事業に伴う発掘調査報告書3 | |

| 番号 | 書名 | 寄贈先 |
|-----|---|-------------------------|
| 189 | 名古屋市文化財調査報告 92 埋蔵文化財調査報告書 75 朝日遺跡 (第 22 次) | 名古屋市教育委員会文化財保護室 |
| 190 | 名古屋市千種区鹿子町一丁目所在 H-G-18 号窯発掘調査報告 | |
| 191 | 特別史跡名古屋城跡発掘調査報告書 (名古屋城西之丸発掘調査) | |
| 192 | 名古屋市熱田区玉ノ井遺跡第 13 次発掘調査報告書 | |
| 193 | 玖珠町遺跡第 2 次発掘調査報告書 | |
| 194 | 朝日遺跡第 23 次発掘調査報告書 - 公共下水道雨水管整備工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 - | |
| 195 | 名古屋市北区若葉通遺跡第 4 次発掘調査報告書 | |
| 196 | 愛知県名古屋市天白元屋敷遺跡平成 26 年度・第 7 次発掘調査報告書 | 公益財団法人桜井市文化財協会 |
| 197 | 桜井市埋蔵文化財 2005 年度 発掘調査報告書 城島遺跡第 38 次調査 城島遺跡第 39 次調査 城島遺跡第 40 次調査 | |
| 198 | 桜井市埋蔵文化財発掘調査報告書第 46 集 桜井市平成 27 年度国庫補助による発掘調査報告書 纏向遺跡第 186 次調査 纏向遺跡第 187 次調査 | |
| 199 | 国立歴史民俗博物館研究報告 第 202 集 | 国立歴史民俗博物館 |
| 200 | 東日本大震災の復興と埋蔵文化財保護の取組 (報告) - 行政対応編 - | 文化庁文化財部記念物課 |
| 201 | 東日本大震災の復興と埋蔵文化財保護の取組 (報告) - 発掘調査の実施と活用への取組編 - | |
| 202 | 埋蔵文化財関係統計資料 - 平成 28 年度 - | |
| 203 | 赤穂市文化財調査報告書 84 有年地区埋蔵文化財詳細分布調査報告書 - 有年原地区・有年牟礼地区 - | 赤穂市教育委員会事務局生涯学習課 |
| 204 | 赤穂市埋蔵文化財調査報告書 85 赤穂市立有年考古館報告書第 4 冊 有年考古第 4 号 - 赤穂市立有年考古館年報 (平成 27 年度) - | |
| 205 | 鳥羽市埋蔵文化財調査報告 8 鳥羽城跡本丸跡発掘調査報告書 - 第 6 ～ 8 次発掘調査 - | 鳥羽市教育委員会生涯学習課 |
| 206 | 三重県埋蔵文化財調査報告 370 中坪遺跡 (第 1 次) 発掘調査報告～松阪市立田町～ | 三重県埋蔵文化財センター |
| 207 | 三重県埋蔵文化財調査報告 371 市場庄遺跡発掘調査報告～松阪市六軒町所在～ | 四日市大学学会環境情報学部部会 |
| 208 | 四日市大学環境情報論集 第 20 巻第 2 号 | |
| 209 | 甲賀市文化財調査報告書第 27 集 西藪ノ内遺跡第 1 次発掘調査報告書 | 甲賀市教育委員会事務局歴史文化財課埋蔵文化財係 |
| 210 | 甲賀市文化財調査報告書第 28 集 平成 28 年度市内遺跡発掘調査報告書 | |
| 211 | 宮口における遺跡の調査 - 北新屋 B 古墳群・大屋敷古窯跡群・讓栄Ⅲ遺跡・北新屋遺跡 - | 浜松市地域遺産センター |
| 212 | 福井城跡 X X I 平成 11 年度・12 年度における福井城跡発掘調査報告書 | 福井市文化財保護センター |
| 213 | 宇陀市内遺跡発掘調査概要報告書 2015 年度 宇陀市文化財調査概要 14 | 宇陀市教育委員会事務局文化財課 |
| 214 | 奈良県指定文化財指定記念 片岡家文書から見た地域の寺社 | |
| 215 | 平成 28 年度野洲市埋蔵文化財調査概要報告書 | |

職員配置

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

| | |
|-------------|-------|
| 文化課長 | 村田 政喜 |
| 文化課長補佐兼係長 | 齊藤 理 |
| 主査 | 石神 教親 |
| 主事 | 川村 伸也 |
| 学芸員 | 宇佐見亜紀 |
| 学芸員 | 久保田恵友 |
| 主事（再任用） | 山口 京子 |
| 文化事務補助員（嘱託） | 木村 洋子 |

桑名市文化財調査報告書

～平成 28 年度～

令和 2 年 3 月 31 日

編集・発行 桑名市教育委員会